

## 商 況

販賣旬報 第201號 昭和7年7月12日

製鐵所販賣部

## 内注と外注

1) 條鋼分野協定會も昭和5年度から「製作義務數量」と云ふ殻から脱することが出来た。此邊から我鐵鋼界も外注本位から内注本位に轉換したのである。

「昭和」を轉機として僅に6、7年間ではあるが實に隔世の感がする。大正15年9月旬報第13號で三港の寸法別輸入數量を發表した頃、市場では「飛んでもないものを發表して呉れるものである、これでは皆に輸入の状況が分つて商賣の面白味が全く無くなる、何んとか止めてもらへまいか」と盛に相談を持ちかけられるものである、此頃が「感」の商賣の末期であつた。それがどうだ、昭和3年の例の丸鋼が跳び上つて、有頂天になつた頃はその厭がつか輸入表を食う様に探したではないか、これが輸入と云ふ火の消える最後の華かさであつた、其後三轉して今日では1箇月多くて2萬噸、普通が1萬噸そこそこと云ふ僅少な數字となつて路傍の花と同じ様に誰1人として輸入表などを見返る者もない。

其代り近來の花形は共販である。昔と云ふてもつい此頃までは當所の先物協議會が業界のバロメーターとして萬人注視的となつて居たものが今は只大型型物に影を留めるだけで、昭和6年3月殆んど總ての共販が完成して以來今日も共販明日も共販と7つ8つの賣出、締切に旬報子など一寸油断をすれば何が何やら分らなくなつてしまふと云ふ有様である。即ち外注轉じて内注となつたのである。

2) 鐵鋼の自給自足が我國に採りて貿易改善上緊要事たる事は勿論であるが、特に一朝有時の際を考ふれば是が非でも獨立を緊要とするものである、然しそう云ふことは除外して單に商業として外注時代と内注時代とを比較して見ると、外注時代には

1、外注の供給力は殆んど無盡藏である。

我國の鋼材の需給高は今迄で最高270萬噸最近は160—170萬噸である、それに對し獨逸だけでも1箇年の鋼の生産高が1,500萬噸に近いものである、況んや歐洲全部に亘ると殆んど4,000萬噸に近い數量であるから我國の20倍以上で之と比較すれば供給力は無限と云ふも過言でない。

それが爲め外國に注文しただけの數量は完全に入荷する。即ち一度好調等の爲めの思惑が發生すれば、其反動も亦可なり深刻で常に相場の変動に悩まされ損害多い。

2、之と反對に注文しなければ1噸も入らぬ。之は勿論である。注文しないものが入荷する理もなく従つて海外に餘程夥しい滞貨が無い限り日本まで脅かされる心配はない。

3、品切れとなると3箇月は手に入らぬ。遂に何千里の海を越えて來るのであるから、おいそれと間に合はぬ。其間の事情を窮めて投機的に立廻れば所謂「感」で相當の利益を擧げることが出来る。此組織の下に出來上つて居るのが現在の鐵問屋であるからストックの意義もあり面白味もある。之に反し内注時代となると。

1、供給能力に制限がある。品種によつて多寡はあるが概觀すれば今の日本の鋼材の供給力は精々300萬噸内外だから、好景氣や關稅などの思惑で如何に殺到しても自然に制限されるから其反動も比較的輕微で市價は平靜に推移する之が内注の有難味である。

2、處が一旦不況に見舞はれて一向欲しくない時でも眼と鼻の間にメーカーを控へ、しかも其メーカーが四苦八苦の者が多いと來ては、どうしても買はされる、しかたがない値で敲く、益々市場を壓迫する、尤も四苦八苦のメーカーと云ふても總てがそう云ふ譯でなく、日本鋼管の様に此の不況時に3分8分の配當をなし得る會社もあるから全部が全部と云ふことではないからお断りして置く。

3、それで外注時代には無いとなれば如何に急いでも3箇月は手に入らないものが今日では電話1本で明日でも間に合ふと云ふ利益見た様なものはあるが其代り問屋の倉庫に積んで置く意義も段々と薄れて仲介業の形態に變化して一攫千金の妙味が無くなつて來た。

3) 内地鐵鋼の獨立が完成して、海外の如何に關せず日本獨得の値段を建て得る迄は理窟から云へば、内注の値段は常に外注値段の上にも出ることが出來ぬ代りに大した下廻りも必要としない筈である處が實際は中々それは簡單には參らず、特に近來では大部分のものが外注値段など雲の上の話で浮世にはトント通用しなくなり7、8月の中型山形鋼の理事會などではテンド頭から外注値段の提出も見ないと云ふ有様である尤も20圓近い逆鞘の希

望では参考にもならぬがこんな事は一考は要すると思ふ何がそうさせたか。

1、は需給の不調和である。メーカー工場能力の維持上製造の平均を望むに拘らず市場は常に需要の波を畫いて進み然も品種別にすると誠に僅少となるから僅かな過不足も敏感に影響するのみならず、間屋も大部疲弊したので近來は特に骨身に徹へる様になつたので1箇年の需給を見れば大した不平均もないが四季折々では甚だしい不調和となつて遂安値に追ひ込まれる。又誰れしも餘つた力は使いたい、然も日本の鐵は米と同様他國に使つてもらへぬ、決して鐵そのものが悪いのではなく、40圓臺になれば輸出が出来ぬ程鐵鋼界の基礎が薄弱なのである、已むを得ず國內に注入したがるから遂に氾濫して値が無くなるのである、又需要不振の際には或程度迄の限産はやるが其程度を越えると協調よりも寧ろ安値でもよいから多産によつて製造原價の引下をする、そこで益々需給の不調和を來して外注値段を無視した値段となる。

2、はアウトサイダーの進出である。各種鋼材には各々共販あつて統制ありと雖も、之は大綱であつて9mm丸鋼と角、平に伸鐵あり最近の例としては關西の中型山形に神戸製鋼の進出と大阪製鐵が近々作ると云ふ噂あり、それによつて値段は極度に安値に敲かれる。之は丁度勢力均衡した大政黨が10名やそこらの小數黨に引きづり廻される様なものである、9mmが1,000噸内外の伸鐵で4,000噸を引づるは未だよい方で、中型山形などは噂を眞實としてもタツタ300噸内外で6,000噸の數量の値段を猛烈な安値に引きづり込むのであるから誠に恐ろしいものである。斯くして市場を不安定ならしめる。何と考へてもつまらぬ話の様に思はれる。之が外注値段を無視せしむる主な原因となる。

4) アウトサイダーの無い獨占分野でも事情に依つて甚だしく異なつて來る、其例は當所獨占分野の大型物と東海鋼業と當所の共販の中板である。

理屈から云へば大型々物などは自由自在に外注追従の應用が出来そうでありながら中々甘く行かぬ、市場人に云はせれば製鐵所が安値の引受をするから悪いのだ、之も一應尤もである。然し大型物の實需は通常纏つて出て來る、其際外注値段の近くまで建値が達して居る時は當所値段と外注を天秤に掛けて脅かす、外注はさせたくないから遂々引受ける、今日では外注の心配がないが、そうすると理論通り、市場から集めようとしても第1、雑多の寸法が中々揃はぬ、扱て揃つた處で品切れを楯に高値を吹き掛けられる虞れがある、それよりも1口2,000噸どうです先物の3圓引きで引き受けて呉れませんかと

持ち掛けて口説くのである、然るに納期が先のものであれば1部は市場から足りない處は製鐵所からなど云ふ面例を踏むより1本で行つた方がやりよいから市場のものが餘程簡単に安値に入手出来ない限り先物で逃げられる要するに市場では纏つたものに対しては最大限當所の先物値段までしか上げられないと云ふことになるし折角出た實需も遂々メーカーへ逃げられ易くなるのである。

然るに中板は寸法はたつた12寸法である、數量も東西に分けると多くて2,000噸それを12に分けると1寸法は比較的僅少である、然も實需は大型物の様に決してメーカーへ直接走る危険はない必ず間屋を通ると定つて居るから市場の様子に通曉した共販の理事者が居れば共販の操る通り市場は動き得るのである。それだから時には外注以上にまで行ける、然し之は外注が無いと云ふ前提の下に成立するものである。處が昨今の様に獅子心中の蟲がウヨウヨと浮いて見える様になつては此共販の統制も前途多事となるのではあるまいか。

5) 前述の通り努力と環境により現在は鉄力板等僅少なものを除けば總ての鋼材は内注時代となつた、が永い間の外注の苦難から逃れて再び内注の苦汁を嘗めてはやり切れぬ。それが爲めにはメーカーとしては其基礎を鞏固にして將來は單に内地市場の需給の調節を謀る意味からも海外に賣り得る安い鋼材を作らなければならぬ、關稅の保護も近い將來に之れなくとも完全にやつて行ける爲めの保護であらなければならぬ、終世その蔭に隠れて惰眠を食ふ爲のものであつてはならぬ。

販賣業者としても此時代の變化に伴つて機構を變へなければ生存して行けないのは自明の理である、然し外國と我國では事情が異ふ、消費數量も異ふし資本關係も同じではない、彼等の組織は参考にはなるが必ずしも鵜呑みには出来ぬ、彼此參酌して改むべきは速かに改むべきである、警鐘は業に既に亂打されて居る、醒めなければならぬ。要するにメーカーも販賣業者も時に應じては一城一廓の主も其衣紋をかなぐり捨て、敢然草履取りとなつて働く覺悟がなくては更生の喜びもなく内注の醜味も味はふ事は出来ぬのではあるまいか。

#### 8、9月積當所先物の締切—申込3,500噸

1) 今月の締切は近來になく關心を持たれたもの、また持つべきものであつた。製鐵が明瞭に外注追従を表明し、然も未だ外注値段と相當の開きが殘されて居る今日かなりの申込があるであろうと云ふものと、あゝ明言したものの、今迄繰り返した様に纏つた實需は間屋を通らず雲の上を流れて行くのではあるまいかと云ふ殘された一片の疑念と、此不景氣にそうは實需は出まい、かなりの高値

から買つて損すれば元も子も無くなる、金にもつまつて  
 際だから庫の物の値上りだけで我慢しようと云ふ考が  
 横溢して居るから申込は少いだらうと云ふ兩様の觀察が  
 行はれ其を綜合して次の結果となつた。

2) 前月は 1,600 吨の申込であつたから今月は丁度其倍  
 である。過去 7 箇月の東西申込を比較すると大阪が總計  
 2 萬 4,000 吨近くなのに比し東京は 1 萬吨足らずである、  
 大阪は分らぬが東京は今では之でも大して不自由して居ら  
 ぬ、然し數字は正直である、今度の市況反撥が珍らしく  
 東京方面が先に火が付いた處などこんな結果も興つて力  
 あつたと觀察される、餘り慾ばらずに賣つて行けば大型  
 物など未だ々々伸びる餘地があるのではあるまいか。

3) 品種別で申込を見ると現在の市況の硬軟通りの數量  
 である、どうせ此先物の申込の大部分が多分此時分には  
 これが賣れるだらうと云ふ豫想の下に綴られるものとする  
 れば、第 3 者から云はせると何とか未だ一工夫してもよ  
 いではあるまいかと思ふが、これが所謂岡目 八目である  
 う。然し溝形が多いと云ふのは或は前月の過少の反動か  
 も知れぬ。

8、9 月積先物申込高

品名	揚地	東京	大阪	名古屋	其他	合計
		角	—	—	—	—
平	鋼	—	—	—	—	—
等	山	435	202	—	—	637
不	山	210	160	—	—	370
溝	形	826	586	15	—	1,387
工	形	275	647	5	—	967
合	計	1,746	1,595	20	—	3,361

7、8 月積先物引受高

品名	工場別	1、2		3		1 中 2 中 1 大		2、3 大		4 型	合計
		小形	小形	1 中	2 中	1 大	2、3 大	4 型			
角	鋼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平	鋼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
等	山	—	—	—	—	—	—	45	—	—	45
不	山	—	—	25	30	—	—	75	—	—	130
溝	形	—	—	—	33	107	—	225	33	—	398
工	形	—	—	—	—	—	—	885	42	—	927
合	計	—	—	25	63	107	1,230	75	1,500	—	1,500

ベンゾール類續好調

1、純ベンゾール及純トルオール値上 まさか全般的の  
 不況が染料界のみを置去りにしたわけでもあるまいが、  
 染料原料としての當所純ベンゾール及純トルオールの需  
 要は益々増加するばかりで特殊の需要先では、「限りある  
 當所生産豫定高に對し各自が之以上の無理は云ふ方が無  
 茶だが、さりとて背に腹はかえられぬからいつそ之等を  
 原料として作る精製品の價値如何によつて各社への割當  
 數量を思ひ切つて決定して欲しい」とまで提案されたが  
 ことほど左様に相變らず供給難を繰返して居る。

此の婿八人の現象は爲替關係、關稅値上等の折柄之等  
 の輸入難が興つて力があるが、それ以上に當所品規格の  
 一定不變の優良性が齎した大きな收穫である。今期(7月、  
 12 月)渡の新價格は從來の算定基礎によつて次記の様に  
 著しい値上を示した。

純ベンゾール	八幡工場渡	正味 1 吨に付	190 圓(10 圓値上)
純トルオール	同	同	305 圓(20 圓値上)
備考	容器付註文は	容器代 1 吨に付	28 圓(前期より 4 圓引) 値増とす

2、モーターベンゾール新價格 揮發油の混亂による安  
 値續出もなんのそのと、生産數量不足の折柄必需方面の  
 否應なしの買氣に煽ふられて、モーターベンゾール市價  
 は再三峠を傳へられながらも引續き高値を維持して居る  
 事變落着後會社もの出廻りから一頃よりは多少市場  
 在庫の缺乏も緩和された感があつたが、當所の 7 月、8  
 月渡の引受數量減によつて再び多大の荷不足を想はせて  
 居る。過日の協議會で 7 月、8 月渡の新價格は 1 圓値  
 上に決定した。

70 吨以上契約	八幡工場渡	容器付 1 吨に付	185 圓
35 吨以上契約	同	同	195 圓
35 吨未満契約	同	同	205 圓

尙既報後の當所價格の推移次の如し

單位	70 吨以上契約	35 吨以上契約	35 吨未満契約
1、2 月渡	170 圓(据置)	180 圓(左同)	190 圓(左同)
3、4 月渡	177 圓(7 圓上)	187 圓(左同)	197 圓(左同)
5、6 月渡	184 圓(7 圓上)	194 圓(左同)	204 圓(左同)
7、8 月渡	185 圓(1 圓上)	195 圓(左同)	205 圓(左同)

備考 以上八幡工場渡容器付 1 吨當り單價なり。

黑板共販理事會—7 月積締切

1、日時場所 7 年 7 月 4 日大阪電氣俱樂部

1、出席者 共販側及四社側全部出席

1、議事 減産第 1 回意外の少數申込の後を受けて、  
 市場も漸く品薄を告げ且組合に對する感情の好轉、輸出  
 の出廻り増加等の好材料を集めて、7 月積の申込は豫定  
 通り薄物内地 8,000 吨、輸出約 2,000 吨に達し組合の難  
 關も既に一段落を告げた様に見受けられる。

組合も市場の好轉を一層早める意味に於て當初聲明の  
 内地 7,000 吨を勇敢に墨守し、且各自の自重を誓ひ合ひ  
 つゝ次記の通り割當を行つた。

申込高	薄物部	内地	輸出	計
		8,069	1,880	9,949
	厚物部			

		A	B	C	計
川製 徳目	崎	1,359	457	159	1,975
	鐵	207	312	—	519
	山	184	369	308	861
	鋼	10	67	169	246
計		1,760	1,205	636	3,601

外に川崎に厚物輸出申込証有り

引受高薄物部

		内地		輸出	計
川製 徳目 中	崎	4,100		1,170	5,270
	鐵	1,130		400	1,530
	山	580		110	690
	鋼	340		50	390
計		7,000		1,880	8,880

厚物部

		A	B	C	計
川製 徳目	崎	1,359	457	159	1,975
	鐵	207	142	—	349
	山	184	369	308	861
	鋼	10	67	169	246
計		1,760	1,035	636	3,431

外に川崎厚物輸出 77 証引受たり

8、9 月積小型山形鋼共販賣出理事會—理事長一任

月日場所 7 月 8 日製鐵所東京出張所

出席者 釜石、製鐵及三井物産

議事 8、9 月積小型山形鋼賣出に關する件

入電は前月に比し一般に安値を報ずるも何にせよ暴落せる爲替と關稅關係により夢の様な高値となつた。

一方最近大阪の伸鐵物 ⅝" 厚が 57 圓東京着などと云ふ恐るべき値段のものが彷徨するありて市場は著しく不安定となり従つて注文も甚だ僅少にて値段の取定めも困難の事情にあるを以て暫時の間其の販賣方法を理事長に一任することとし今回は建値もせざることとし散會した

外注値段

Specification	G.	\$	¥
⅝" × ¾" (3mm × 20mm)		16.65	87.22
⅝" × 1" (3 × 25)		16.05	85.03
⅝" × 1¼" (3 × 30)		15.80	84.12
⅝" × 1½" (3 × 40)		15.80	84.12
⅜" × 1¼" (5 + 30)		15.80	84.12
⅜" × 1½" (5 × 40)		14.85	80.66
⅜" × 1¾" (4 × 45)		14.50	79.38
¼" × 1½" (6 × 45)		14.75	80.30
¼" × 1¾" (6 × 45)		14.25	78.47
Exch.	@ \$		27.00
Import duty	¥		25.06
Charges & int.	¥		1.90

7、8 月積厚板の申込と引受—申込 1 萬 6,000 証

7、8 月積の厚板は 6 月 27 日に締切つたが今回は理事會もなく申込通り引受と決定した。

引受數量	耳付	定尺	切板	計
	1,480 証	47 証	92 証	1,619 証

前月はたつた 600 証足らずの申込しかなかつたが、關稅値上げ、爲替の悪化に伴ひ一般鋼材が轉換氣味となつたのに連れたのと、極端な手當薄の反動としてせめてこれだけの申込となつたのである。

特に耳付が 1,480 証と云ふのは 3 箇月振りである。

6、7 月積中型山形鋼の申込と引受

大部色々の問題があつて 6 月末漸く纏つた中型山形定期の第 1 回申込引受の結果は次の通りである。勿論定期のことではあるから數量は基本數量と大した變化もある筈もないが、それでも 6,600 証の最大限とならぬ處は市場の滯貨や積遅れがそこはかたく影響して居るものと考へられる。

6、7 月積中型山形鋼定期申込高

	京濱場	伊勢灣場	神阪場	計
等邊	2,177	265	2,620	5,062
不等邊	273	—	260	533
計	2,450	265	2,880	5,595

7、8 月積中型山形鋼共販賣理事會—未決定

月日場所 7 月 6 日製鐵所東京出張所

出席者 鋼管、東海、製鐵及定期團

議事 7、8 月積中型山形鋼値段決定の件

定期團の希望 最近に於て丸鋼の安値に刺戟されて關西方面にてはアウト、サイダーの侵入あり且丸鋼界の不安定は益々此進出の餘地を與へ、關東方面も此脅威を受くる懸念もあるを以て丸鋼の状態も考慮し且つアウトサイダーの進出を未然に防ぐ意味も加味されて前月より 2 圓下げとされたし。此提案を受けて後理事會に移つたが其意見を綜合すると。今日の鋼材界の大勢は一般に昂騰氣勢にあるに拘はらず、月額 300 証位の僅少なアウト、サイダーの進出を理由として此際値下げを要望するは餘りに懸引あり眞面目を缺く様思はる。

假にアウト、サイダーの進出あるにせよ、一流問屋を網羅したる此定期團の決心の仕様によりては決して長るゝに足らず、又共販と定期團は夫婦の如く相共に扶け合ふべきものなれば定期團としても自重して統制に努め鞏固なるものとされたい希望なり。

今月は外注値段の提出もなき爲め不明なるも、市の趨勢を考へたのみにても漸次に之に近づく意味もあり彼是考察して 3 圓上げとしたし。之を買手側に提案したるに對し買手側は大阪の先行懸念濃厚なる理由により次記値段まで買上ぐる故是非承知せられたしとの事であつた。

次記 等邊、不等邊共 60 圓。50mm 等邊 55 圓 (等邊 50mm は現在アウトサイダーが進出するもの)

共販も再び會合して協議したる結果買手の理由は薄弱にしてアウト、サイダーも現在は未だ大なる影響を及ぼ

すとも考へられず、且現下の市場及大勢より押して 62圓は至當と考ふるも一心同體の定期團の要望を無下に退けるも本意なれば最後案として共販の希望を半分放棄して 1圓 50錢値上げと云ふことにて御相談の上返事せられたし。と云ふことであつた。大阪鋼材商會の代表者は据置までは委任せられたるも夫以上は一應大阪と相談の上返事するとのことにて前後 4 時間に互る會議も結末つかず、此日は懸案の儘解散した。

7 日對策の爲め再び理事會開催 買手側幹事より次の報告あり。大阪鋼材商會代表は昨夜急遽下阪し 7 日 10 時鋼材商會集合して相談したる結果買手側の最後案即ち等邊不等邊 60 圓 50mm 等邊 55 圓より一步も譲ること能はず然るべくとの事なるも大阪 4 社側としては此儘正面衝突するは誠に遺憾につき何とか纏まる様努力すべきに付き若干日数を借されたしとの提案あり、東京側は大阪と事情は異にするも同じ定期團なれば心痛しある次第にて何とか圓滿に運ぶ様考へられたしと返事があつた。

理事會の意向は之に對し己に最後の決心は昨日提示済みにて如何ともするを得ざるに付一層努力せられたしと應酬し 4 社側三度相談の結果、根本的の改造は日時を要し且つ圓滑なる運行を害する故何とか妥協點を見出し度く買手側は前回値段を訂正し

等邊、不等邊 60 圓 50 錢 50mm 等邊 57 圓とすべきに付共販側も何卒妥協的に進まれたしとの話ありたるも理事會としては其決心は決して無理もなく、又已に決議として決定したる以上如何ともすべからず、其爲め 4 社に對して此上猶買手側を纏める様努力せられたしと返事するより外云ふべきなく其儘再び物別れとなつた。旬報締切迄には是以上何等の決定を見なかつた。

#### 6 月中三港輸入概況—劃世紀?—減少

前月に比し 7,000 噸即ち 36% の激減である。梅雨期と云ふハンデイキャップはあるとしても、2、3 月の少康當時にも先行不況の底を豫想し、關稅増徴期をも見透してゐたのが、最悪であつた昨年 12 月初中旬に比し餘り遜色のない不況振りを示した今月となつて、歩調を揃へて此の減少を來さしたあたり、新稅率を適用されたと思しき 6 月 16 日を境として以後の輸入を殊更に寥々たる影に留めたあたり、流石蛇の道は蛇と其の明察に恐れ入る他はない。

此の藝當があればこそ思惑り度くもなるので若し素晴らしい好況を將來に豫想される時期が到來すれば、蛇道が邪道に通ずる危険は充分想像されるが今後の輸入が愈々むづかしくなつた事は確である。

共販は相當に統制の効果を擧げてゐるし、生産力過剩

の物は減産、不足の物は増設と需給の調節も成らんとしてゐる時に際し、對外的には爲替 25 弗は夢想ではなく關稅 35% の増徴となつたのでは現在の購買力に對しては全く輸入の門戸を閉ざしたので昭和 7 年 6 月 16 日を以て茲に日本鐵鋼界自給のエポックを劃した事となるのではあるまいか。

丸鋼は昨年中は細丸が大部分を占め、殊に 6mm、 $\frac{3}{16}$ " が多かつたが伸鐵物の跋扈に押れて今年に入つてからは夫等ものは殆ど影を潜めたと云つて差支へあるまい。今月は横濱 100 噸の内 50 噸が 6mm で久し振に姿を現し、過般の多少の活況を買はれたものと云はれて居るが丸鋼全體として近來依然として特殊物の輸入に止り大、中、小全般に亘つて少量宛分布される事となつた。吾孀精鋼の参加に依つて略丸鋼界統制成就となれば鋼材の中心も愈々安定したと見られるので鐵鋼國策確立に拍車をかけるものとして同慶の至りである。

條鋼類合計は前月より約 600 噸の減少である。只溝形が昨年來の多量を示したが全部國鐵向特殊品との事である。茲に問題は鋼板に有る 0.7mm 超 1,700 噸は本年 3 月頃の中板昂騰の波によつて買付けたと見られ、先月に比しては 1,200 噸増、5 年 8 月以降に於ては最大輸入數量である。共販 5、6 月積先物が近來の需要常態の 2 倍も出てゐる際、追ひ冠せての此の數量が市場の重荷となるや否や、漸騰傾向に在る今日としては人爲的に反對現象にまで導かれるかも知れないので其表面的結果に關する限り必ずしも悪いとは斷じられないが、0.7 mm 超 6 月輸入數量中 1,466 噸が堂々共販寸法物と云ふに至つては言語道斷啞然たらざるを得ない。

尤も是れをしも蛇の道は蛇となし近頃の中板市場の強調を得て我が意を得たりとするならば又何をか言はんやである。志士を氣取るの謂ではないが鐵鋼維新に處するには多少の我慾を捨ててもよいのではあるまいか國を誤り禁裡を騒がす者は外夷に非ずして國賊であり、不逞の士である。不信は之れを犬と云ひ裏切と呼び破壊の原動力である。

切角の此の際敢て猛省を促してやまない。鋳力板は先月の半減以下 4,297 噸である。過去 3 箇年 6 月の輸入數量即ち 4 年 4,646 噸 5 年 2,947 噸、6 年 2,933 噸に比較すると決して少量とは云はれない。然しながら、是れは全般に通じて言はれる事であるが、新稅率適用見越に依る輸入急ぎの結果、上、中旬に多く、下旬に少いので流石暴威を逞ふした鋳力を今後ようやく鋒銛を収めさせるのではあるまいか。

軌條約 1,000 噸の中、大部分は市電用ガード及グルー

プレールである。線材は半減して復々 1,000 吨臺となり本年 2 月に次で數年來の少量に止つた。近來市場が好調を示し始めたのも、此邊に原因の 1 部が潜むのではあるまいか。過去 3 箇年間に於ける上 6 箇月間の線材輸入數量は賦力とは反對に逐年激減の一路を辿つて居るが本年上 6 箇月間の數量も昨年同期に比すれば約半減である。此の結果はやがては已に還へるもので因果應報は佛陀の教ばかりではなく、彼是思ひ合せれば此處にも廻ぐる小車の教を見出す事が出来る。

今後共切角の積善を一朝の利慾に無に終らせ度くないものである。昭和 4、5、6 年各上 6 箇月間の線材輸入數量を比較すれば次の通りである。尠な過ぎるから殖しちまへは眞平である。

4 年	5 年	6 年	7 年
82,636 吨	38,611 吨	27,658 吨	14,107 吨

「チップ不要、タカリ禁止」と決死的サービスで斯界確立を劃して居ると云はれて居る鋼管も 100 吨臺となつたかと思ふと忽 1,000 吨臺を突破する状態である。賦力、線材のやうに人目を惹かないが昨年來常に半減、倍増を繰り返してゐる。何とか安定を得られないものか。

斯くて自給自足時代への過渡期として 6 月は未だ全く外注驅逐の境地に到達してはゐないが漸次目的完成に近づきつゝある事は事實である。其の成就是國民たる者の齊しく冀ふ處であるが内外經濟界の状況は今や混沌とし問題は錯綜してゐる。今後果して其の實が揚るか？

揚らざるを得ない環境とは云へ損得を敏感に立廻るのが商賣なので環境と不測なる人心の成行如何に依つて何う云ふ結果を招來するか容易に樂觀を許さないものがある。外注驅逐、黎明の鐘は鳴つたが今はまだ視福するよりも先づ各員徐に自重、反省將來此の時を顧みて悔無きを期すべき時期ではあるまいか。

**ブラツセル齋藤囑託通信**

7 月 8 日入電 前回の市況通報後市場再び不安定となる。相場一般に 1 志方下押す。

6 月 17 日發信 市況は全く釘附にて變化なく相場も手堅く保合居候 今週市場へ佛國の安オツファア入込居候は一に佛國內地需要も減退模様にてメーカーは輸出賣あせりの氣味見へたるに外ならず白耳義、ルクセンブルグ製造家は此上は安賣するより寧ろ工場の閉鎖を撰ぶと云ふ傾向相見へ申候 今週の相場下の通り

	Export	Inland
Bars (base)	£ 2—3—0	fr. 400
Angles (")	2—3—0	400
" (med.)	2—4—0	—
Joits (N. S.)	2—0—0	400

" (B. S.)	2—2—0	410
Hoops (base)	3—7—6	675
Billettes	1—19—0	—
Sheetbars	2—0—0	—
Plates (5mm or 3/16")	2—13—6	525

**東西市況—1 段落**

先月 28 日の當所先物の大幅値上げは市場には非常な好感を以て向へられ、その數日前からの好氣配を鞭撻して 29 日頃は異常な高値稱へとなつたが其後追々と落ち付き模様となり静觀する餘裕を生じ一方實需も其機に一寸跳び付き氣勢を見せたが現在は實需家も何等かの材料待ちに見送り状態と云はれて居る、従つて市中は此際安く賣りたくもなし、さりとて利喰根性を清算する程度の底まで硬化するまでには至らず戻り賣りもチラホラ散見されると云ふ程度で要するに今の處は理屈から云へば硬調の先行と思ふが一般經濟界等の状態から若干の疑念が胸底に蟠る爲め未だ表面が強氣となつただけと見られて居る。

**東京市況**

**丸鋼** 6mm 依然沈滞の域を脱せず 9mm は大阪方面の定期のもつれが祟つて一進一退ではあるが伸鐵の脅威が大阪よりは薄いので目先は當所からの入荷の多少を材料に高低を畫くと見られて居る 12mm は特に近來エキストラ物の値は無く全くベース並となり、安値物を抱いて居るので腰弱を傳へられて居る、前旬事ありげに見えたベース物はかすかに聞こゆる減産の聲はあるが其の程度も分らないし、尤も秘密々々で決つても實際の所は不明だらう、が兎に角輪廓が明瞭にならない内は無條件の強氣にもなれず然も不相變需給不振の上高値の物を握つてアップアップで賣氣分が勝を占めて居ると云はれて居る。中丸は何としてもあの 57 圓と云ふ馬鹿氣た値が市場を崩し、それが目先入荷を控へて居る故之が消化されるまでは策の施し様もないと見られて居る。

**角、平鋼** 角、平もあまり香しくない條件が具備されたので市況も冴えず、然し悪い悪いと云ひながら値段は前旬よりはよい處を見ると環境と云ふものは、恐ろしいものである。

**型鋼** 棒鋼と世界を異にして居るかに見える程期かである、然し如何に部屋住みの具合がよくても大黒柱を背負つた跡取りの丸鋼が悪くては鋼材界全般があまりよい様に見えぬは何とも残念である。小型山は大部分が伸鐵に侵されて製鋼業者は手も足も出ぬと云ふ有様である 中型山形は前旬は先高豫想に好感を持つて居た處、俄然捲き起つた共販定期團の動搖が直ぐ様反映して 1 時 63 圓位行つたものが頭打ちとなり逃げ腰と見られて居る

當所分野の大型物は總て 3-5 圓の反撥となり賣行こそ鈍いが今度こそは出さへすれば有るものだけは此方へ廻るとの自信が出て睨りを傳へられて居る、不等山は共同分野は中型等山の關係上氣迷であるが其の他は 6×50×75 が 7 圓 10 錢 6×65×75 6 圓 70 錢、を稱へられ其他も強調、溝形も品薄に好調を傳へられ工形は感度鈍く高値のまゝ保合つて居る。

**鋼板** 中板は豫想通り先物値段近くまで奔騰して氣をよくして居る、然し市場人よ。油斷は大敵である。6 月中の輸入を見ると此共販の範圍のものが 1,500 噸も入つた。之を何と見る。誰れに聞いても己は知らぬと子供の喧嘩の様な事を云ふが、内心耻づる處無きか、若しそれをしも「商買道」と云ふなら何をか云はんやである。宜しく島國根性を改めて大局に著眼せよ、他を責むるの道は完全以上に心得ながら自らを戒むる心は全然缺如して然も平然たるものがある、毎月輸入表を眺めて常に義憤を感じて居る。切に自重を望む。

1.6mm は今までの浮動氣味が先物の發表によつて愈々本調子となり 2.3 は弗々賣物が現はれて居る處から今の處あまり期待は懸けられて居らぬが値段は相當高値を呼び、3.2 も底意に若干の動搖を殘し、安くは賣りたくもなし、さりとて高値を突張る元氣までは出ぬ程度と見られ、4.5 は先行手當薄と睨んで強含みとなり 6.0, 9.0 以上は中板に連れて義理で伸びた位で氣持は平凡。

### 大 阪 市 況

**丸 鋼** いよいよ梅雨明けとなつた、そしてこれからは眞夏への行進である。當大阪市中も本月は夏祭オンパレードである。さて財界は再禁止景氣の反動も終りを告げていよいよインフレーション景氣の行進曲となつた。而し我が鋼材界は縷報の如く過去の苦い經驗に懲り々々して居るので昨今の本格的インフレーション景氣にも羨に懲りて膺をふくの態で殊に今月は例年閑散な月とあつて市中相場は部分的の小高下を演じてゐるのみで特筆すべき材料はない。

6mm, 8mm, 9mm は伸鐵方面の滞貨著しくこれが處分に汲々としてゐる有様で従つて相場の上昇は先づ當分ないであらうと見られて居る。ベース物も亦頃來伸鐵品の脅威を受けて居る品物丈に商内の妙味薄く従つて目下メーカーの根本的對策を必要とせられ市況は混沌として先行きの見透しがつかぬ。中丸は共販の統制が昨今の場面にあらはれてか先向來稍々硬化氣構へとなつた。

夏祭何事もさて置いて哉

**角、平鋼** 伸鐵品 12mm, 15mm 角は市中在庫豊富にて鈍調、其他のものは當所先物値段發表を鶴首して待ち

佐びてゐる様子で相場は 6 圓揚みと唱へられてゐる。就中 75mm は手當薄から 6 圓 80 錢と異常な反騰振りを見せてゐる。平鋼は安値品の手持も相當あるので相場は茲許伸び悩みの態と云はれてゐる。而し解體船材料の先高を氣構へて伸鐵方面も安値には賣應せぬと云はれ時節柄注目されてゐる。

**型 鋼** 小形アングルは當所値下げ發表につれて伸鐵のものゝ積極的市場進出に相場はジリ貧を不改。就中 3×25, 3×32, 3×40, 5×40 は特に安い。中型アングルは引續き落付いてゐるが先般アウトサイダーの中型山形鋼を製作するとの聲明はさらでだに神經過敏な市場人を驚かせたと云はれてゐる。大型アングルは當所値上げ發表により市中相場は一齋に 5 圓方引締つた様子で目先幾分期待されてゐる。チャンネル竝にジョイストは當所値上げと同時に反撥氣勢となつたが何分にも賣行は遅々として進まない模様である。

**鋼板** 逆鞘を傳へられてゐた 1, 2 中板も其後共販の値上げ發表により場面は緊張し商内も先づスムーズに行はれ先行樂觀視されてゐる。4.5 は相變らず品拂底にて氣配は一段と高い。6mm 品掠れて高値を呼ばれ其他のものは荷動き悪く凡調を辿つてゐる。

**線 材** 先般來形勢觀望の態にありし線材も過般共販 7 月渡値段据置發表竝に他鋼材値上を映して昂騰氣配となり賣手強く四圍の事情はどうやら商機の接近を思はしめるものがある。相場は當所品は別表の通りであるが大陸物は 1 英噸 90 圓、神戸もの 1 噸 80 圓である。

**鉞力板** 賣れぬ時には値上すればよけいに賣れず、といつて値下すれば又賣れぬといはれ先般高値を示してゐた我鉞力板も大勢には抗し得ず又復下押しに轉じたと云はれてゐる。

### 販 賣 旬 報 第 202 號 昭和 7 年 7 月 21 日 製 鐵 所 販 賣 部

9、10 月積當所先物協議會—2 圓上げ

月日場所 7 月 15 日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、4 社、三都問屋

議 事 9、10 月積先物賣出に關する件

鐵鋼界では娑婆より一寸後れてお盆の 15 日にお迎火を焚いたところ、先月から値段だけは否應なしに吊上げられてゐるので、お精靈様の御機嫌もよければ浮び上りもしたので、東西から續々と御繰り出しになつて而もいと朗に 9、10 月積先物協議會の蓋があいた。

先づ買手側から、別表外注値段にある通り、コストは白耳義の罷業に依り稍上向いたが爲替は輸出期に向つて強調となつたし、本國の狀態も何日變るかも知れず先行

9-10月積先物協議會

品 種	區 分	入電 沖着	河岸着値段 (爲替 $\frac{1}{16}$ - $\frac{15}{16}$ ) (\$28-0)	希望	決定	備考
角鋼	ベース	£4-1-0	¥77.04	69.00	71.00	2圓上げ
平鋼	(本所分野)	4-1-0	77.04	69.00	71.00	〃
大型	山形鋼	4-1-0	77.04	71.00	71.00	〃
工形	鋼	4-1-0	77.04	71.00	71.00	〃
溝形鋼	(吋寸法)	\$16.50	84.53	76.00	78.00	〃
〃	(耗寸法)	14.50	77.50	71.00	71.00	〃
丸鋼	ベース	4-1-0	77.04			
〃	9mm	4-8-6	81.73			
中小型	山形鋼	4-1-0	77.04			
鋼板	6mm以上	\$16.80	85.59			
〃	4.5mm	16.80	85.59			
〃	3.2mm	17.40	87.69			
〃	2.3mm	18.30	97.70			
〃	1.6mm	18.75	99.28			
線材	B.W.G.No.5	25.50	113.15			
黒薄鋼板	£	10-12-6	179.16			
鉄力板	170 lbs	1-10-11	21.16			
〃	100 lbs	0-17-2	11.81			

不安定の今日、月1回の協議會に於て若し天井を打てば外注に走る危険も生ずるので、製鐵所の外注追隨主義は不變とは思ふが次回に上げ餘地を残して今回は別紙希望案通り決定され度し、尙前月も希望條件として提出した事ではあるが市場調節の必要上賣出數量の點重ねて留意されたしとの要望があつた。

製鐵所としては、先月の協議會後市況が硬化した事を認めるし、依然として變らぬ外注追隨主義の立前から此處でもう一息大きく上げて、一つは折角の保護施設を有効に生かし度く、一つは此の機は共に市場を誘導して一層生彩あらしめ度い意向ではあるが、漸を追ふて騰勢を残し而して外注驅逐の實績を挙げると云ふ買手側の希望にも一理あるので、充分考慮する事とし、種々懇談の結果諸問題を一括して次の如く決定した。

- 1、値段 全部 2圓上げ
- 2、締切日 7月22日
- 3、新作、切揃、先物より安くせず外注より高くせざる事
- 4、數量 市場に悪影響を及ぼさぬ事を目標としてなるべく調節す

8、9月積鉄力板協議會一賣止め

月日場所 7月15日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、四社及問屋

議事 8、9月積鉄力板賣出に關する件

買手側希望 久し振りに c. i. f. が僅かではあるが強調となつたのに加へて爲替と關稅の關係から外注値段は前月の値段を甚しく上廻つてゐる際ではあるが當市場は(1)需要尠く(2)100封度 170封度の在庫は多くはないが輸入2級品、W. W、オルサイズ等の侵入に悩まされ(3)殊に大阪に於てはそれ以外に200封度16圓と云ふ安値物が氾濫してゐる上に注文通りの寸法に切斷し

て應ずると云ふ便法をも講じてゐるので競争甚困難である、等が原因して大阪側ではむしろ据置を希望するやうな状態であるが、一方東京側は外注との鞘を考慮して100封度9圓30銭、170封度17圓と多少共値上げの意向なので買手側としての意見纏らず旁々時流も轉換期と思はれるので製鐵所に於て市場の趨勢を參酌し然るべく決定せられ度し。

とて買手側を一括しての具體的希望は提出されなかつたが要するに据置か100封度30銭、170封度50銭の値上げ程度の意向であつた。

是れに對し製鐵所としては需要が無いと云つても僅かなる當所の生産數量が全然消化されないとは考へられないし、ストックも極度に減少してゐる折柄徒に數量を多く出す必要もないので買手側の言ふが如く市場に伸力が無ければ當所で市場をリードし、市場が當所の意向に追隨して来るまで待つ可なりと云ふ方針で現實外注との間に大きな鞘がある此の際大幅値上げを以て臨み度いが買手側の希望する處と大分隔りがあるので今回は鳴くまで待たして戴き度いと當所の方針を明にした。

そこで今後數回に亘り漸次値上げをして製鐵所の主義に順應するやうにしては如何との議もあつたが、當所としては劣等なる輸入品となつてまで競争する意志もないので現在に於ては妥協の餘地もなく買手側に於ても製鐵所の企圖に賛成し市場リードを依頼し將來を俟つ事となつて今回は賣出さない事となつた。

鉄力板外注値段

English Coke Tin Plates Primes (Tin lined)

	(100lbs.)	(170lbs.)
Cif. price	£ 0-16-9	£ 1-10-6
Exch. @ $\frac{1}{4}$	¥ 10.75	¥ 19.26
Interest 1 $\frac{1}{4}$ %	.13	.24
Duty	.72	1.22
Landing changes	.08	.15
	11.50	20.87

8、9月積中板共販理事會一大幅値上げ

月日場所 7月7日 製鐵所東京出張所

出席者 東京、製鐵及四社

議事 8、9月積中板賣出に關する件

買手希望 此共販は美事なる統制により市況も順潮に推移し居る故今回の賣出に就ては爲替關係及關稅値上げにより前回に比し相當高値となりたるだけ値上げの可能性はあるも、今迄の行懸り上一擧に値上げざるは困却する向もあり且爲替のフラクチュエーションは今迄逆踏し難き状態にあるを以て之に備ふることも加味して漸を追ふて進みたし。

賣手側 徐々に値上げすると云ふ意見には全然同意す

るも其實際上の運用として最初如何程 値上げするか充分の考慮を要する事項で、今回は爲替関係を 全然考慮外として単に關脫のみを参照して其程度の 値上げとしたとして買手賣手間の意見に 1 圓程度の差異ありたるも協議の結果共販側意見に合流した。

猶最近外注品の入荷可なりの數量に上り特に 6 月に於ては東西合して 1,500 噸近くの數量に達すると云ふ狀況である。之は勿論 4 社其他には無きこと、自信はするもの、統制上誠に遺憾に堪えぬ故、何卒組合と共に統制に努力する意味より將來も一段の自制と協力を 願度しと云ふ組合側の提案に對し、大阪は規約もあつて 過去將來共絶対に斯ることなきを期して居るとの事であり、東京も大阪同様との事であつた。

外 注 値 段

Aug./Sept. Shipment

	£	¥	Kiboh	¥
1.6mm	5-7-0	100.78		95.00
2.3mm	5-5-0	99.52		93.00
3.2mm	4-12-0	84.49		82.00
4.5mm	4-10-0	83.23		79.00

Ex. rate 1/6. 3/4  
 Duty 1.6mm, 2.3mm ¥ 32.01  
 3.2mm, 4.5mm 25.06  
 Charge 1.90

7、8 月積中型山形鋼値段決定—突込 1 圓 50 錢上げ

7、8 積中型山形鋼理事會は會する事 2 回 甲論乙駁互の見解を持して下らず飛電頻りに往來すれとも 妥協の色無く、値段未決の儘物別れとなつたが其の後大阪側熟慮の結果、市況好調、各種鋼材漸騰傾向にある 今日としては、定期的性質上團員自ら値を崩すに非ざれば 1 圓 50 錢の値上げで充分採算がとれるし、旁々問題となつた 50mm のアウトサイダーに對しては團結、對峙の手もあるし、假令進出を許したとしても僅々 300 噸の數量では共販より引受くる他寸法物を以て充分商賣の バランスを制する事が出来るので少利を得んとして決裂を招くは愚の骨頂とし茲に總てに對し正常なる認識の上に 立脚する事となつたので、斯らなれば共存共榮は願ふ處なのでメーカーも等邊、不等邊の差を撤回して讓る事にもなつて一時成行を氣遣はれた共販對定期團の風雲も大風 一過無事落着互讓の裡に次の通り決定した。

決定日 7 月 12 日

値段 等邊、不等邊 60 圓 50 錢  
 邊等 1 圓 50 錢上げ  
 邊共 不等邊 50 錢上げ

8 月積線材共販理事會—内地向 3 圓上げ

日時場所 7 月 19 日 東京丸之内會館

出席者 神戸製鋼、製鐵、5 社

議 事

1、賣出値段の件 5 社側より、前回の理事會以來強調を氣構へられてゐた線材市場も 製釘採算割れ、製線僅少の利鞘に氣配拂々しからず期待に反して 伸惱み、爲替も當分は 27 弗 1/2 を下廻る事もないらしく 觀測される一方別表外注値段第 1 表はノミナルで相當纏つた引合に對しては 19 弗 50 仙でも賣應ずるとかの 噂もあるので採算の基礎を外注値段第 2 表にをき萬全の策をとつて内地向 80 圓、輸出向 73 圓として上げ餘地を 充分來月に殘しては如何との希望があつた。

是れに對し共販より、市場在庫及び 輸入の減少、他鋼材値上等好轉材料豊富なるに加はへて 外注値段との間に相當の値鞘ある今日尙ほ充分買上げの 餘地ありとは思ふが、5 社の希望をも容れて次の如く決定し度しとの意向が述べられ異議なく次の通り決定した。

内地向 81 圓 3 圓上げ 輸出向 73 圓 据置

2、賣出數量の件

希望數量 (内地向 8,500 噸  
 輸出向 2,600 噸)

其に就き次の通り説明された。

由來大阪に多く揚げられてゐたが東京方面も頃來不動在庫品漸減し、概して實需向となり、愈々本調子となつたので内地向は先月よりも 1,500 噸を増加し大阪揚 5,000 噸、東京揚 3,500 噸、計 8,500 噸とし、輸出向は販路獲得の自信もあるので 2,600 噸を希望したとの事である。

尙ほ『輸出向に關しては、全部 5 社を通ずる事とせられ度し』との要望があつたが是れは撤回する事とし次の通り決定す。

内地向 8,500 噸 但し大體以上數量を目標とし申込の程度により多少加減する事あるべし。

揚地別數量の比率はメ切の際提出する事。

輸出向 2,000 噸

3、メ 切 21 日正午

4、輸出物處理條件改、増の件

思惑でない内地向の増加は誠に 結構であり、成算あつての輸出向も喜ばしいが共に一步を過まれば 市場を崩す事となる虞は充分考へられるので次の 2 項を改増して轉ばぬ先の杖とした。法は罪せんが爲の掟ではないが據る者にとつては充分の制裁は當然の 責であると云ふのが立前である。

(イ) 改正するもの。(旬報第 200 號第 3 頁の處理條件(ロ))

以上期間内に輸出せざるもの又は輸出免狀を 共販に提出する事を得ざるものに對しては受渡日を含む 3 箇月間の最高建値每噸金 3 圓宛加算したる金額を共販に支拂は

しむる事。

(ロ) 増補するもの。組合外製品の輸出免状を組合製品の輸出免状として振向けたる者には以後賣渡さざる事

(ハ) アウトサイダーの輸出物は取り扱はざる事

8月積ワイヤロッド外注採算

19th July, 1932,

No. 1		No. 2	
C. I. F.	\$ 25.50	C. I. F.	\$ 20.00
\$ 27½	¥ 92.73		¥ 72.73
Int. 1.4%	1.30		1.02
Charge	.90		.90
Dnty	23.01	in bond	—
			¥ 22.01
1,069kgs	¥ 116.94		¥ 74.65
1,000	115.09		73.47
			¥ 96.63
			95.14

速報の珍現象

「〇〇〇〇」と云ふ電報

時節柄物騒なものが舞ひ込んだものである。

光る其の筋の恐い目も大阪からの速報と知れば「なアーんだ」とそつぽを向くだらうがどつこい、こつちはそれからが目を光らさなければならぬ。

別表速報で御覽の通り大阪は今旬、只の1艘の輸入も無かつたのである。

三港速報を集め始めたのは昭和3年8月の上旬からであるが以来今日まで一港の輸入が皆無と云ふ事は是れが最初である。前旬も線材が大阪に198艘輸入された切りで神戸、横濱兩港共ブランクであつたが薄板と鉄力は記入されてあつた。薄板、鉄力、線材と云へば思惑の對照で亂調子の親玉だが10日間に1艘も入らないと云ふのは珍らしい現象である。

確に世の中が異常であるには違ひないが愈々外注驅逐が本調子になつて來たのではあるまいか、

而し輸入は水物である。鉄力板の三港輸入5月上、中旬7,133艘と7月上、中旬1,732艘とを比較する時期節を考慮に入れても水物は甚しい、明日にも洪水の如くに押し寄せて來ないとも限らない、油斷は大敵である。

鉄力の5月迄の無茶輸入、それもいか物を喰ひ過ぎての食傷を目の前に見た上に今日の爲替と關稅ではおれそれと輸入にも飛びつけないと思はれるが近頃は線材畑に19弗某の安い物を擔ぎ廻つて、500艘位ひ纏つたら賣りましよう、と、數でこなそうとする凄い商人も歩いてゐると云ふ事だからこゝらで1番禰を締めて頂き度いものである。

急に運動の選手生活を廢めると病氣になると云ふがあれは嘘で、家でラジオ體操でもしてゐれば健康は充分保つ事が出来る。其の代り運動を中斷して急激に復活すれば大變、肋膜となる事受け合ひである。

少な過ぎても心配、多すぎても心配、苦勞の種は盡きないものであるが、とまれかくまれ非常時、劃世紀の今日生きるも死ぬも日本鐵鋼界全般自身の歩み方一つである。

「〇〇〇〇」をして良い方面に於ける意義あらしめ度いものである。

ブラッセル齋藤囑託通信

7月18日入電 白耳義シヤレロア 地方工場總罷業へ入りたる爲め市場硬化す。相場次の通り。

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S.)
2-4-0	2-2-0	2-3-0	2-2-0
鋼 板	シートバー	ピレット	
(3/16")	(asso ted)	(4")	
2-13-0	1-18-6	1-18-0	

6月24日發信 市況は別段變りなく佛國及ルクセムブルグ筋の競争烈しく腰強かりし白耳義メーカーも幾分讓歩の様子にて相場は又々1志見當弱含みに御座候

	Export	Inland
Blooms (4")	£ 1-18-0	fr. 340
Billettes (4")	1-18-6	360
Sheetbars (assorted)	2- 0-0	370
Bars (base)	2- 3-0	400
Angles (heavy)	2- 2-0	400
Joist (N. P.)	2- 0-0	400
" (B. S.)	2- 1-6	400
Hoops (hot drawn)	3- 5-0	675
" (cold drawn)	6- 2-6	—
Wire Rods (5/5½mm)	4-10-0	—
Plates (3/16" or 5mm)	2-13-0	525

7月1日發信 本週の市況は不相變開散無爲にして何等の變化なく特に御報申上ぐる材料無き爲め御架電申上げず候

	Export	Inland
Bars	£ 2- 2-6	fr. 400
Angles	2- 1-6	400
" (med.)	2- 2-0	—
Joist (N. P.)	2- 0-0	400
" (B. S.)	2- 1-6	400
Hoops (hot drawn)	3- 5-0	650
Wire Rods	4-10-0	—
Plates (3/16" or 5mm)	2-12-0	515
Blooms (4")	1-17-0	330
Billettes (4")	1-18-0	350
Sheetbars (assorted)	1-19-0	370

昭和7年版製品目録に就て

今般頒布した年版製品目録の改訂箇所は

1、山形鋼の斷面積が日本標準規格に於て改訂せられたので訂正した。従て重量も相違して居る。

1、當所指定寸法の紹介に意を用ひて、指定寸法に對する需要家の認識不足を啓發する爲に特に太字を用ひて一目識別し得る様にした。一般使用者の留意を希望します。

1、其他5年版の誤算誤謬を訂正したつもりであるが

遺漏の點多々ある事と思ふ御指示を希望します。

### 東西市況—鋼材界二分さる

値段から見ても氣持から考へても鋼材界は劃然と棒鋼と型物及鋼板と云ふ二つに分れてしまつた。

先月末の當所先物協議會前後は丸鋼が上伸しはしまいかと云ふ考と、型物に懸念があつた爲め値段は兎に角、氣分ではそうまで明瞭にはなつて居なかつたが矢繼早の當所先物の値上と當所の態度が鮮明になつた型物に對し棒鋼は丸鋼市場が一向見當付かない爲め續落を演じ角、平も之に追従して軟を誘ひ今旬からは遂に二分するに至つた。

此の様にあまり隔絶した事は過渡時代としては已むを得まいが、實際問題としてはよほど研究を要するのではあるまいか。

荷動きは例の通り極度に不振の儘推移して居る爲めと經濟界の環境から打算して型物や板の高値も此處まで來ると戻り賣りの氣配が引き續き擡頭して居るので思ひ切つて飛躍し得ないと見られて居る。

### 東京市況

**丸鋼** 伸鐵も追々と八方塞りとなるので6mmへの影響未だ消へず、9mmも大阪の52圓などと云ふ聲を聞いて居るものだから氣持を悪くし、12mmも愈々エキストラもなくなつてベースと同様賣れぬ賣れぬが利いて不冴、ベース物は今の處は匙を投げた形で闘志も消え失せ見積物など52圓と3圓の間を往來して居ると傳へられて居る。中丸も當所品の入荷に62圓の値上げも一向利かず。

**角、平鋼** 角、平も不相變と云ふ言葉に盡きる。角の細い處は伸鐵の賣逃げに祟られ、平の民間サイズは鋼管の55圓が相場となり當所分野も先物の値上げなどテンデ問題にしないと云はれて居る。

**型鋼** 中型山形は定期問題も一段落となり芽も出さうなものであるが、茲許出廻り順調と云ふのを楯に前へ一步後へ一步の氣迷ひとなり、不等邊の共販分野も同様と見られて居る。其他の當所分野の大型物は先物2圓上から一勢に躍進はしたが賣行を見ない爲め此處らで一服と見られて居る、其内でも溝形は手持が減つた感が特に深い様で工形のクズよりは氣を持たれて居る。要するに他力に押されて厭々ながら此處まで上つたと云ふ調子と見られて居る。

**鋼板** 中板も今日の狀勢は一才氣味が悪くなつて是以上の伸力に疑問を抱く様になつた筋がある模様である。16mmは稍品薄の感があるが例の外注物が昨今今日96圓搦みで市中を持ち廻られて居るのが甚だしく市場の

氣持を害して利喰急ぎと見られて居る。蓋し火に水を注ぐものである。23は値段は相當高値に保合つて居るが、動かぬものだけに期待は懸けられて居らぬ。32は目先入荷あるも品多からず保合を續け、45は5×10品薄の外現在不變、6は一才中板にお附合をして伸び氣味となつたが相當手持もあつて復々軟調を傳へられて居る。

### 大阪市況

**丸鋼** 概して變態的商狀を呈してゐる。即ち過般のベルギーストライキで大陸品は高値を報じ又一方に於ては爲替の低調其他關稅の障壁等刺激材料があり、従つて問屋筋の心境に多少變化を來してゐるものもあるやうであるが、早く浮かれたものはそれだけ疲れたり足踏して後續部隊と歩調を合はさねばならぬ日も來るだらうし、そして又手も足も出ぬやうな浮目を見ぬとも限らぬ。兎に角阿波德島の盆踊の歌ではないが踊る阿呆に、見る阿呆同じ阿呆なら踊らにや損か、得か餘程慎重な態度を取らねばなるまい。

6mmは6圓7、80錢、8mmは5圓60錢見當にて共に小口商内弗々にて妙味に乏しい。9mmは伸鐵品に押され勝にて相場も5圓40錢と凡調。市中ベース物の洪水にて賣行不振と相待つて相場は5圓4、50錢唱へなるも少し纏つた注文に對しては法外な安値にも賣應ずるといつた有様である。中丸は當所分野もの丈けに頃來落付きを見せ且つ昨今1部問屋に荷物偏在のため相場は6圓1、30錢と光つてゐる。太丸は切賣程度にて全く問題にはならない。

### 青柿の落ちて朽ちけり夏の雨

**角、平、鋼** 角鋼は賣行悪しき品にて伸鐵品の脅威もないがそれ丈けに商内の妙味も尠く相場は57、8圓—60圓位を往來してゐる。50mm以上のものは目下品掠れにて60圓以上に取引されてゐる。平鋼市況は曇天續きで賣買共日和見の態で市中相場もはつきりしない。

**型鋼** 小型アングルは小口商内弗々散見せられる程度で共販の品物は恰も伸鐵品にリードされてゐるやうな形で従つて相場も頭重い。中型アングルは續報の如く引續き好調を持続。2"×2" 50×65 50×75等は日用品の事とて賣行は良好である。大型アングルは概して強含保合なれ共一部手持筋の安値處分を氣遣はれてゐる。

工形鋼、溝形鋼共に引續き手堅き合みで持合つてゐる。

**鋼板** 1、2中板は至極順調に取引されてゐる。従つて市中ストックはさして多い方ではないらしい。45は極單なる品掠れにてまことに群鶉の一鶴の感がある。厚板は安値品も殆んど處分されたので賣行はまだ良くないが場面は緊張して來た。

**線材** 最近南洋及び滿洲方面へ相當製品の輸出があつたので市中ストックは減少した様子で相場は前旬來保合であるが、各問屋筋は一齊に待機の姿勢を取つてゐるやうである。

**鐵力板** 近日中に外注スクラップの入荷あるとの事なれ共爲替關係でこれは餘り問題にされて居らぬ。市中はストック漸減の態にて益々先高氣分濃厚で搗て加へて本月 15 日の當所先物協議會の結果鐵力板 賣出中止の報に接し氣配は一段と締つた。

**販賣旬報** 第 203 號 昭和 7 年 8 月 2 日  
製鐵所販賣部

**9、10 月積當所先物の締切—申込 2,000 吨**

議會の際に 2 箇月も續けて引受數量調節の希望があつた。之れは恐らく多量の申込を豫期しての事であらうが前月が 3,500 吨足らず、今日に至つては 2,000 吨に満たない數量である。どれ位の數量から調節してよいか見當が付かぬが常識的に考へてこんな數量では調節處の話ではあるまい。これを杞憂と云ふのである。

東西を比較すると前月は異例として東西殆んど同數量の現象を表はしたが、今日は常態に復して大阪方面が優勢となつた。商賣人を以て自他共に許す大阪が何故先月申込まなかつたか寧ろ不思議である。然しそこが商賣人で或は斯く見るが淺見で相當の理由があるのかも知れぬ

**9、10 月積先物申込高**

品名	揚地	東京	大阪	名古屋	其他	合計
角平等不溝工	鋼	—	—	—	—	—
	鋼	—	—	—	—	—
	山形	68	140	—	—	208
	山形	63	115	—	—	178
	溝工	154	635	—	—	789
合計	126	645	—	—	771	
合計	411	1,535	—	—	1,946	

**8、9 月積先物引受高**

品名	工場名	1、2 小形	3 小形	1中	2中	1大	2、3 大	4 型	合計
角平等不溝工	鋼	—	—	—	—	—	—	—	—
	鋼	—	—	—	—	—	—	—	—
	山形	—	—	—	—	—	452	—	452
	山形	—	—	115	80	—	124	161	475
	溝工	—	—	—	233	478	541	165	1,417
合計	—	—	—	—	—	887	100	987	
合計	—	—	110	313	478	2,004	426	3,331	

品種では先月溝形が斷然多かつたが今日は減じて工形と殆んど同數量となつた。また山形鋼が先月 1,000 吨あつたのが今日は 400 吨足らずに減少した、この位の起伏はあたり前であらうが山形鋼だけは聊か目立つ様である。將來の大型物が如何に變化するか需給關係、在庫の狀態等により豫測の限ではないが申込數量のみから判斷するのを許されるなれば豫想された様な 尨大な數量も申込

まれて居らないのみならず、昔と異つて之を脅かす輸入も跡を絶つた事であるから秋の需要期には最小限度悪化は脱れる様に感ぜられるが將して如何のものにや。

**スペシャルクレゾールと 2 號石炭酸**

1) **スペシャルクレゾール型録規格變更** 本年 2 月販賣以來多量の輸入品によく對抗し新規の需要を喚起しつゝあつた當所スペシャルクレゾールの規格は「日本藥局方第四改版によるもの」として、當所獨特の 1 號クレゾール及び 2 號クレゾールと同様に所謂  $\odot$  の眞價を發揮して來たが、6 月 25 日付官報號外によつて日本藥局方第 5 改正が發布せられ粗製クレゾールの規格改正を見たから取扱へず型録の本品規格を次記の通りに改正し從來のスペシャルクレゾールとして引續き販賣することゝなつた。

新藥局方品は目下生産に關して鋭意研究中であるから明年に入れば新しく賣り出すことを得るであらう。

(スペシャルクレゾール型録改正規格)

色相 類黄色乃至黄褐色、反應 中性或は微酸性、比重 攝氏 15 度に於て 1.040—1.060、蒸餾性狀 攝氏 183 度より 205 度間に全部 餾出するものにして攝氏 185 度乃至 200 度間に 92% 以上餾出す。

因に本品發賣以來の契約高は次の如し。

2 月渡	3、4 月渡	5、6 月渡	7、8 月渡	計
29 吨	24 吨	13 吨	32 吨	98 吨

2) **2 號石炭酸急騰** 工業用と云ふハンディキャップのあるにも不拘規格の不變が人氣を呼び、兩事變の頃各月毎に入札價格は躍進又躍進を示し、何處まで延びるのだらうかと大いに興味を持たせられて居た當所 2 號石炭酸(凝固點攝氏 37 度)も其後 2、3 箇月は一息の形であつたが、熱河の雲行急なるためか最近の關係市場の硬化に因つて再び急騰し、7 月入札は約 80 圓の騰貴をなして當所工場渡純當 940 圓を遙に突破した。

當所品としては實に昭和 2 年 12 月渡以來の高値である。「年内に 1,000 圓臺を出現すべし」とは某強氣筋の 3 月頃の豫言で、其頃は夢の様にししか考へられなかつたがとうとう當らずと雖も遠からずの状態を來した 炯眼には敬服の外はない。

**8 月積厚板共理事會—賣出 2 圓上げ**

日時場所 7 月 20 日 製鐵所東京出張所

出席者 川崎、淺野、東海、製鐵

議事 1、先物賣出値段の件

外注沖着は前月より 20 仙安となつたが、同時に爲替 1 弗  $\frac{1}{4}$  低落して 27 弗  $\frac{1}{2}$  となつたので邦貨に換算純當り 86 圓 65 錢となり、前月より 2 圓方強調となつ

た。

一方内地厚板界は實需依然不振を極め、夏枯時を控へて需要の擡頭覺束なき状態なるも外注との値鞘を減少する必要もあり旁々 9、10 月物には相當の申込みも期待し得るを以て現在一氣の値上げは是れを避けるとするも將來の騰勢を充分暗示して漸次値上を誘發するを妥當とし次の條件を以て賣出す事となつた。

イ、賣出値段	耳附	定尺	切板
	67 圓	75 圓	76 圓
	2 圓上げ	"	"

ロ、締切日 7 月 25 日

1) 7 月 20 日以降一般賣値段の件

先物値段の變更に伴ひ 隨時引合賣値段を次の通り變更する事とした。因に今回の賣出より 隨時引合に限り切板と定尺を一括して耳附と區別し、耳附と其他の切板との 2 種とする事にした。

イ、賣出値段	耳附	70 圓	2 圓上げ
	其他の切板	78 圓	2 圓及 1 圓上げ

ロ、造船材料及其他の規格品賣値全部据置

ハ、水道管用鋼板は大體次の標準値段により引合に應ずる事となつた。

軟鋼程度の規格品 82 圓、極軟鋼程度の規格品 85 圓、

8、9 月積厚板共販の締切一申込 500 噸に減ず

7 月 25 日 8、9 月積厚板の締切を行つた。

理事會は先月同様開かずに總てを決定した。

先月は 1,600 噸の申込を見て一寸一息ついた感があつたが、今月は再び舊に復したと云ふが僅々 500 噸に過ぎなかつた。これでも未だ市中在庫が相當あつて買氣が起らぬとの事將して何處まで押して行くか見當も付かぬ。兎に角今月は強氣の材料も出盡して 愈々需給に着眼した事が斯る結果を招來したのである。

申込數量 (引受數量)

耳付	定尺	切板	計
370 噸	108 噸	24 噸	502 噸

黑板共販理事會 8、9 月積出し

日時場所 7 月 28 日 丸ノ内會館

出席者 共販各所社及 4 社側

議 事 黑板 8、9 月積賣出しに關する件

1、劈頭 4 社側より次の希望申出あり賣出に對する 4 社側の希望を提案するに先ち 共販組合繼續問題は市場にて相當注目せられつゝあり、是れに對する 共販の意見承知願度。

以上の問題に對して共販側より 次のステートメントを發表せり。中山薄鐵板増設 3 臺は共販の認めざる所にし

て是れが對策に附ては 8 月 5 日中山より組合へ 回答することゝなれり、而して其回答が共販に満足なる 場合は從來の通り存續し不満足の場合は組合を解散するか 或は中山を除き他の一所 3 社にて共販を組織するか何れかに歸結するべし。

以上ステートメントの發表に對し 4 社側としては暫く賣出しを延期し中山の態度決定の上賣出しを發表せられ度しとの要望ありたるも、共販としては 中山問題の成行如何に不拘現在の共販は 8 月一杯存續するを以て賣出延期の不可なる理由を説明し結局次の條件に依り 賣出しを發表することに決定せり。

1、賣出數量 發表せず申込を看て適宜決定すること

1、値段 全部前月据置とす

1、締切 8 月 2 日正午

1、發表 8 月 3 日正午

8、9 月積線材の締切一申込 1 萬 3,000 噸

申込高の寡多を以て市況の硬軟を卜るならば 今回は最近 3 箇月以來の多い申込數量であつたし、引受高も發表數量より 500 噸を増して 9,000 噸となつたので先づは線材市場の卦も吉と出た譯である。

12、1 月積の申込 2,000 噸を最少とし、其の後は金輪禁止景氣に煽られて 4、5 月積までは 反動的に買はれたので市場は在庫の膨脹に弱つてゐたが、近來の輸入減と買控へてようやく手持薄となつたところへ現在の 外注採算高時代が到來し且つ需要期にも向ふので 思惑も手傳つて 1 萬 3,000 噸の申込を見たと云はれてゐる。

一般に先高が豫想されてゐるので今月の 値頃では思惑が仕度い處ではあるが、今回の申込に加はへて 現在賣込まれつゝありと云はれてゐる本國の安物でも 持ち込まれれば元々自力更生の 好轉ではないので、忽ち戻賣人氣となる事必常である。賣出數量が制限され 賣出値段が外注値段を遙に下廻つてゐる限り 今後の市場在庫に對する責任は買手側に於て負ふべきではあるまいか。

輸出向は 2,000 噸の賣出に對して 5,000 噸以上の申込があつた。實際に此の數量丈の販路が決定されてゐるならば我國鐵鋼界の大進歩であり、國內市場 調節の點からも誠に結構であるが、現状から推して此の 莫大な輸出向數量が果して妥當であらうか、まさか内地に 振替へられるやうな不正は萬々あるまいと思ふが、いたづらつ子の 通信簿を待つ心に似て通關書類の 甲乙就中操行が氣に掛る。

引受が 1,000 噸から 2,000 噸と順潮に進みつゝある際であるので御互に自重して折角輸出の健全なる 發展を期し度いものである。

8、9 月積線材申込及引受高

向先	區別	申込高			引受高		
		神戸	製鐵所	計	神戸	製鐵所	計
内地向	東京	—	4,980	4,980	—	3,055	3,055
	大阪	5,610	2,610	8,220	4,000	1,815	5,815
	名古屋	—	130	130	—	130	130
	八幡	—	—	—	—	—	—
	計	5,610	7,720	13,330	4,000	5,000	9,000
輸出向		5,320	5,320	890	1,110	2,000	

6 月中大陸市況

最近の大陸市場は閑散を極めてをりますが、毎々申し上げた通り相場は既に生産費を割つてをりますので、5月から6月中旬にかけては經、政事情の如何に關せず大體値段は下げ止りとなりてをりました處、各市場共に商賣が無いでは濟まされず従つてよんどころなく競争による不利を甘受しても事業は繼續せざるを得ないので力の無い者は工場を閉鎖或は休業するとして生き残り組は復々安値に逃れて細々ながら煙を上げてゐる 始末です。

然しながら近來の大陸鐵鋼界は全く古往古來嘗て比類のない最悪の状態なので假令底入れと見られてゐた前月の値段を多少下廻つてもそれは他に理由があつて相場が浪を打つのではなく、生死の境を僅に持ち堪へてゐる時に偶々賣應じた安値に過ぎないで市況はむしろ焦附状態と見るのが至當と云はれてをります。

尤もローザンヌ會議の成行が懸念され、國際關係に少しも曙光が認められなかつた當時とて悲觀人氣濃厚で當分好轉の望無しと見られてゐたのでしようが、會議も何うやら効果を改めたので是れ以上悪くなる餘地はあるまいと見られてをりますが、そうかと云つて決して此の一事に依つて難關が一掃されたのではなく、其の後獨逸の國情變化等もありますので總ての重大問題が處理されない限り好轉と云ふ段取にはなりません。

燕越へれば穂高、乗鞍と難所は心悪いまでに聳へてをります。大陸市況も今はまだやつと上高地あたりへ着いた頃かも知れません。

速急に峻峰を征服する事は出来ませんが今の歩みを續けてをれば早晩あのアルピニストが味ふ天空開豁上に天下を睥睨する快を得る時期は到來するものと云はれてをります。

來月の市況には何とか吉報を御知らせ仕度いものですがはれ遙に越し方を願みれば本年上半期の大陸市況は多難の一語に盡きます。

次表、年初と6月末の相場を比較して苦難の跡と現在の市況を御想像下さい。

ブラツセル取引所平均相場

	1 月 6 日	6 月 29 日
Billetts 2" — 2½"	2—8—0	1—18—0
Sheets bars assorted	2—9—0	1—18—6
Sheet bars	2-13-6 to 2-14-0	2—2—0
Joist, stand. sect.	2—12—0	2—0—0
id. Brit. sect	2—13—0	2- 1-0 to 2-1-6
rods assorted	2-19-0 to 3-1-6	2-8-6 to 2-9-0
Angles, heavy	2—13—0	2—3—0
Plates ⅜"	3—5—0	2—12—6
id. ⅝"	3—7—6	2—14—0
Sheets ⅞"	4—2—6	3—5—0

ブラツセル齋藤囑託通信

7 月 25 日 入電 市場變化なく相場も不變の儘愈々夏季休暇に入る。

7 月 8 日 發信 市況は引續き閑散にてメーカーの苦境は益々甚だしく遂に相場も 1 志方讓歩するの止むなき姿なれども取引は目下ローザンヌの國際賠償會議の成行案じの爲め前途財界の見極め附く迄は氣迷の儘休暇期に入り申可く候。相場下の通り。

Bars	£ 2—2—0
Angles	2—1—0
" (med.)	2—2—0
Joist (B. S.)	2—1—0
Plates (⅜")	2—12—0
Sheet bars	1—19—0
Billettes (4")	1—17—6

東西市況—夏枯れ

連日の酷暑にうだつた形で商内も暇な爲め夏枯れ氣分が横溢して居る。2 分した鋼材界は益々離れて行く、即ち大型物が一步一步上伸を辿ると反對に棒鋼はギリギリと安値に追はれ、概觀して 15、16 圓の開きとなり中には 20 圓以上も懸絶したものもある、嘗て經驗せざる珍現象である。

米國の經濟界好轉の報が兩 3 日頻りに至つて土曜日頃は兜町あたりがモサモサとして來た様だが我鋼材界には何時轉換の氣運が來るものやら、中には今日此頃の空模様様に旱天に雲電を待つ氣持で自分勝手の憶測で勘定して居る向もあるとの事である。

東京市況

丸 鋼 6 mm も近來は全部と云ふてよい程伸鐵物と化し、6 圓臺も危しと見られ、9 mm も大阪が賣れないと云ふ評判を聞いて益々氣を腐らし、12 mm を含む所謂ベース物も未だ五里霧中で何處まで行くか見當も付かないと心細い事を聞かされる。中丸も手持漸増の形で例の先值物が消化されない間は望薄と云はれて居る。

角、平鋼 共に在庫を擁し賣行不振を極めて居るから結果は云はずと知れた事で轉換などと云ふことは誰れも考へては居らぬとの事である。

**型鋼** 小形は共販と伸鐵の角突き合せでよい筈はなく中型山形もそろそろ市場に溜り気味で一段安を報ぜられ、當所分野は總じて強保合で概観して7圓程度即ち先物發表の1圓下位を辿つて居るが溝形は前旬に引き續き一體に強く、特に6.5×75×150は大阪で纏めて400噸位の需要があつたとかで東京からも200噸許り抜かれて8圓30錢と突飛な高値を唱えられて居る、工形の鈍牛も追々と醒めかけた模様で睨りを傳へられて居る。

**鋼板** 1.6は未だ舶來物に崇られて伸び悩みと云はれ、2.3は保合圏内を續け4×8は稍好調、3.2は西高に刺戟されて8圓50錢買と聊か硬化を見、4.5は外注も入るだけは入つたし相場も此邊を底と見て腹に反撥を藏して居る様子と傳へられ6.0も朝鮮方面の200噸許りの實需の決定待ちで腰強く、9.0以上も厚板共販の建値から勘定して義理にも7圓以下は賣れなくなつて其邊まで持つて行つた、8.5は大阪の高値に影響されて硬化を傳へられて居る。

大阪市況

**丸鋼** 土用三郎といふ言葉を聞いたいけでも暑いのに、商人にとっては唯一の清涼劑たる商内は寥々たる有様で、昨今はまことに暑苦しい思ひをしてゐるらしい。こうした時に例へ50噸位の小口商内でも出来ればこれによつてホット一息吐くといつた有様と云はれてゐる。要するに斯る商状である以上尙目先としては依然夏枯れの場面を持続するより外なきものとされ、何等氣力を認め得ない場面を展開してゐる。

細物は伸鐵品に押され落潮を不改。9mmは市中ストック漸減の態なるも當所の積出しを氣にして不冴相場も5圓1、30錢である。12mm以上44mmは相變らず伸鐵品に壓倒されてゐるので鋼材聯合會でこれが對策に腐心してゐるが、確固たる對策が出来ない限り好轉は覺えないと見られてゐる。中丸は當所値上げにより市況硬化氣構

へとなつた。然し過般キャンセルされし當所積遅れ品を眺めて相場は伸鐵みの態である。太丸は爲替關係で相場は上向き歩調なるも賣行は捗々しからず。

一杯のコールコーヒヤ蘇る

**角、平鋼** 角鋼は需給比較的圓滑に行はれてゐるので氣配は保合を呈してゐる。平鋼は丸鋼民間寸法の賣行悪しきため民間メーカー並に伸鐵方面は生産能力を平の製作に向けたため遂に生産過剩を來し、従つて相場はジリ安歩調を辿り3'市以上のものは5圓80錢揃みに取引されてゐる模様である。

**型鋼** 小形アングル共販の統制も效を奏せず市場は依然伸鐵ものゝ進出に頭を病めてゐる模様で、氣配は軟勢の一途を辿るのみと云はれてゐる。3×25、3×40は5圓8、90錢見當である。中型アングルは引續き好調を傳へられ相場も6圓4、50錢と小堅い。大型アングルは當所値上げにより市場もこれに追従してゐる。

溝形鋼、工形鋼共に大型アングル市況とほゞ同様の歩調を辿り只管當所の販賣統制振を注目してゐる様である。

**鋼板** 1、2中板は引續き強調を持続、1.6、3.2、4.5は手當薄に加へて賣行良好にて氣配は睨りを示し先高を豫想きれてゐる。厚板は當所値上げ其他シャア方面よりの荷廻り不順調にて相場は反騰し目先多大の期待をかけられてゐる。

**線材** お祭月とて閑散そのものゝやうな市況を呈してゐるが、諸種の事情から各間屋共賣惜みの態にて相場も先旬來50錢方引締つた。大陸品は1英噸金90圓で取引されてゐる。

**鐵力板** 弗々乍らスクラップ及び其他の安値品の荷動きある外目立つた商内は出来ないらしいが、各間屋共當所賣止め發表以來思惑買をする手合もあり従つて相場は昨今の水銀柱のやうにぐんぐん昇つてゐる。

昭和7年5月中民間棒鋼生産高表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	
丸鋼		25.5	25	60	16	4½	291	平鋼	50		966	
6mm	192	28	1,229	65	148	5	25	19mm	5		39	
9	22	29	66	70	32	5½	135		4	63	11	
10	2	32	1,036	75	28	二級品	312		30	65	612	
12	5,498	36	226	80	17	三級品	379		25	75	88	
13	32	38	1,030	83	15				28	90	27	
16	2,661	42	137	90	23	計	25,350		30	100	74	
19	2,461	44	281	95	14	角			32	26	1¾"	79
20	50	48	95	100	23	鋼			36	4	2	5
22	4,282	50	146	3¾"	992	16mm	571		38	502	2¾"	9
25	3,099	55	18	3½"	67	計	571		41	41	2½"	9
		57	18	3¾"	227				42	63	三級品	40
									44	14	計	2,678
									48	59	棒鋼合計	28,599

線材、薄板、鋺力板輸入速報表

區分 品名	7月上旬				7月中旬				7月下旬			
	神戸	大阪	横濱	合計	神戸	大阪	横濱	合計	神戸	大阪	横濱	合計
	自6月29日 至7月8日	自6月29日 至7月8日	自6月28日 至7月7日	自7月9日 至7月18日	自7月9日 至7月18日	自7月8日 至7月17日	自7月8日 至7月17日	自7月19日 至7月28日	自7月19日 至7月28日	自7月18日 至7月27日	自7月18日 至7月27日	自7月18日 至7月27日
B.W.G.No.5	—	100	—	100	91	—	203	294	19	—	—	19
線材 其他	—	98	—	98	—	—	204	204	21	—	—	21
計	—	198	—	198	91	—	407	498	40	—	—	40
7月計	—	—	—	—	91	198	407	696	131	198	407	736
薄板 0.7mm以下	—	8	137	245	90	—	28	118	1	—	20	21
7月計	—	—	—	—	90	8	165	263	91	8	185	284
鋺力板	453	20	709	1,182	345	—	205	550	340	1	1,792	2,133
7月計	—	—	—	—	798	20	914	1,732	1,138	21	2,706	3,865

東京大阪市中相場 (單位噸)

寸法	7月上旬		7月中旬		7月下旬	
	東京 7月 9日	大阪 7月 5日	東京 7月 18日	大阪 7月 15日	東京 7月 29日	大阪 7月 25日
<b>丸鋼</b>						
6mm	6.40	6.00	6.30	6.00	6.00	5.90
9	5.60	5.50	5.55	5.40	5.45	5.30
12	—	—	5.50	—	5.40	—
19	5.55	—	—	—	—	—
25	—	—	—	—	—	—
50	6.00	6.20	5.85	6.10	5.80	6.20
65	—	—	5.90	—	—	—
<b>角鋼</b>						
9mm	6.00	6.00	6.00	5.80	5.95	5.60
12	—	5.90	—	5.90	5.90	5.70
15	5.90	—	5.90	5.85	—	—
19	—	6.00	—	5.90	—	5.80
38	6.10	6.10	6.00	—	—	5.90
<b>平鋼</b>						
6mm×38mm	5.80	5.60	5.70	5.50	5.65	5.60
6×50	—	—	—	—	5.60	—
6×75	5.90	5.80	5.80	5.60	5.70	5.80
9×100	6.20	5.90	6.00	5.80	5.80	—
12×100	6.10	—	—	—	—	—
<b>等邊山形鋼</b>						
mm mm mm						
6×50×50	6.15	6.35	6.15	6.20	6.05	6.40
6×65×65	6.20	—	6.20	6.30	6.10	—
9×75×75	—	—	—	—	—	6.50
9×130×130	6.60	6.80	6.75	6.60	6.80	7.20
12×130×130	6.65	—	6.80	—	6.90	—
15×150×150	6.70	—	—	6.70	—	—
<b>不等邊山形鋼</b>						
mm mm mm						
10×50×75	6.70	6.70	6.75	6.70	6.80	7.20
10×75×100	6.30	6.40	6.30	6.35	6.30	6.50
10×90×125	—	6.50	—	6.40	—	6.60
9×100×150	6.60	6.80	6.70	6.65	6.80	7.20
12×100×150	—	—	6.85	—	—	—

寸法	7月上旬		7月中旬		7月下旬	
	東京 7月 9日	大阪 7月 5日	東京 7月 18日	大阪 7月 15日	東京 7月 29日	大阪 7月 25日
<b>溝形鋼</b>						
mm mm mm						
5×50×100	6.80	7.00	7.10	6.80	7.10	7.30
6×65×125	7.50	7.80	7.60	7.60	7.75	8.20
3/8×3'×6"	—	—	—	—	7.80	—
3/8×3×8	6.90	7.00	6.90	6.90	7.00	7.20
9mm×90mm×250mm	7.50	7.80	7.60	7.60	7.80	8.20
10×90×300	—	—	—	—	—	—
<b>工形鋼</b>						
mm mm mm						
5.5×75×150	7.00	6.80	7.20	6.80	7.30	7.10
7×100×200	6.70	—	6.90	6.90	7.00	7.30
9×150×300	—	6.90	6.85	—	6.80	7.20
12×150×350	6.80	7.00	6.90	—	7.00	—
10×125×250	6.70	—	6.80	—	6.90	—
<b>鋼板</b>						
1.6mm×3'×6'	9.70	10.00	9.70	9.80	9.70	9.90
1.6×4×8	9.80	—	9.85	9.90	9.80	—
3.2×4×8	8.45	8.50	8.45	8.50	8.40	8.70
3.2×5×10	8.30	—	8.40	—	8.35	—
6.0×4×8	7.60	7.60	7.50	7.50	7.45	7.60
6.0×5×10	7.50	7.70	7.45	—	—	—
9.0×4×8	7.00	7.30	6.95	7.20	7.00	7.50
9.0×5×10	—	7.20	—	—	—	—
<b>薄鋼板 (13枚)</b>						
英	46	49.5	45	48	46	46
川崎	47	49.5	45	48	45.5	46
八幡	47	49.5	45	48	46	46
<b>鋺力板</b>						
米	170lbs	20.00	20.00	20.00	20.00	20.20
	100	11.80	11.50	11.00	11.50	11.50
英	170	16.50	16.40	16.80	16.20	16.80
	100	8.80	8.50	9.00	9.20	9.00
八幡	170	16.50	16.50	16.80	16.50	16.80
	100	8.80	9.00	9.00	9.50	9.00
<b>線材</b>						
No. 5#	81.00	80.50	83.00	80.50	82.50	81.00

備考 單位 100 Kg につき(置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は噸當り。鋺力板は 1 箱當り。

昭和7年5月中當所品種寸法別生産高 (其ノ一)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	
<b>棒鋼の部</b>		<b>小形角鋼</b>		50	536	230×100	151	W.B.G.No.		61	2	
<b>小形丸鋼</b>		12mm	278	計	916	250×125	717	19	6	62	3	
9mm	4,829	16	473	<b>等邊中型山形鋼</b>		300×150	1	計	3,976	64	1	
10	24	19	217	70mm	3	400×150	53	計	1,425	68	1	
11	1	22	67	75	635	<b>乙形鋼</b>		<b>厚鋼板</b>		70	1	
12	28	25	168	90	37	mm mm mm		6mm	687	72	1	
13	3	28	61	計	675	70×50×40	14	7	51	78	4	
15	12	32	367	<b>等邊大型山形鋼</b>		100×50×40	39	8	438	80	1	
16	115	其他	1	150mm	390	130×70×60	5	8.5	1	3/8"	5	
17	1	計	1,632	計	390	150×70×65	7	9	450	1/2"	11	
18	56	<b>中形角鋼</b>		<b>等邊山形計</b>		計	65	9.5	2	3/4"	4	
19	43	38mm	190	1,981	<b>鋼矢板</b>		10	338	計	4,293		
20	5	44	169	小型不等邊山形鋼		計	859	11	203	<b>耳付中鋼板</b>		
21	44	50	3	mm mm		<b>型鋼計</b>		12	317	4mm	1	
22	21	55	4	50×35	23	條鋼計	7,876	12.5	1	4.5	1	
24	43	60	2	計	23	鋼板の部		13	138	5.5	1	
26	6	65	5	<b>中型不等邊山形鋼</b>		<b>薄鋼板</b>		14	96	計	3	
28	28	70	7	mm mm		sheets		15	20	<b>耳付厚鋼板</b>		
32	54	75	1	65×50	101	4	69	16	211	6mm	301	
34	1	計	381	75×65	211	7	165	17	64	7	7	
36	6	角鋼計	2,013	80×60	3	8	43	18	24	8	301	
其他	4	<b>小形平鋼</b>		4"×3 1/2"	166	10	135	19	174	9	51	
計	5,334	19mm	105	計	481	11	85	20	133	10	324	
<b>中形丸鋼</b>		計	105	<b>大型不等邊山形鋼</b>		13	2,413	20	112	11	29	
38mm	24	<b>中形平鋼</b>		mm mm		B.W.G.No.		21	68	12	71	
44	48	65mm	27	125×90	53	22	4	22	369	13	361	
46	1	70	48	計	53	23	1	23	58	14	15	
48	6	75	530	<b>不等邊山形計</b>		30	43	24	3	15	18	
50	1,004	80	11	557	<b>溝形鋼</b>		計	2,963	31	1	16	4
55	458	90	183	mm mm		1mm		32	93	17	316	
60	11	100	111	75×40	1	1.2	17	33	1	18	43	
65	438	3 3/8"	328	100×50	102	1.5	230	34	8	19	2	
75	1	4	5	125×65	508	1.6	11	35	1	20	80	
80	150	計	1,243	150×75	620	1.8	61	36	10	21	49	
90	247	<b>平鋼計</b>		200×90	5	1.85	148	37	13	22	13	
95	99	1,348	<b>スケルフ</b>		230×80	183	2	96	38	8	23	127
100	373	計	960	75×40	1	230×90	148	2.3	515	39	4	
計	2,860	<b>火床用平鋼</b>		100×50	102	250×90	998	2.5	18	40	8	
<b>大形丸鋼</b>		計	14	125×65	508	6"×2 1/2"	203	2.6	4	41	2	
110mm	26	<b>其他棒鋼</b>		150×75	620	6×3	102	2.9	261	42	7	
115	82	計	10	200×90	5	7×3	119	3	61	43	1	
120	38	<b>棒鋼計</b>		230×80	183	計	2,989	3.2	729	44	8	
125	52	13,323	<b>型鋼の部</b>		230×90	148	<b>中鋼板</b>		45	9		
130	79	<b>等邊小型山形鋼</b>		250×90	998	1mm		46	2			
140	38	20mm	5	6"×2 1/2"	203	1.2	42	47	2			
150	14	25	31	6×3	102	1.5	15	48	2			
160	72	30	127	7×3	119	1.6	957	49	8			
170	111	35	49	計	2,989	1.8	61	50	12			
180	106	40	168	<b>工形鋼</b>		1.85	148	51	10			
190	83	<b>型鋼の部</b>		mm mm		2	96	52	4			
200	83	<b>等邊小型山形鋼</b>		125×75	123	2.3	515	53	8			
計	784	<b>等邊小型山形鋼</b>		150×75	197	2.5	18	54	4			
<b>丸鋼計</b>		20mm	5	150×125	98	2.6	4	55	10			
8,978		25	31	180×100	35	2.9	261	56	4			
		30	127	200×150	50	3	61					
		35	49			3.2	729					
		40	168			3.5	8					
						4	149					
						4.5	644					
						5	42					
						5.5	15					
						12"	2					
						18	1					
						20	1					

昭和7年4月中當所品種寸法別生産高 (其ノ二)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>ユニバーサル平鋼</b>		<b>其他鋼板</b>		<b>附屬品</b>		同 角	19	洞 岡	16,569	<b>シートバー</b>	
10mm	8	不銹鋼板	7	目 板	460	計	74	計	67,429	内 部 向	8,734
12	2	電 氣 爐 板	2	タ イ プ	1,298	其 他		<b>合 金 鐵</b>		外 部 向	13,625
19	127	飛 行 機 用 鋼 板	16	ス パ イ キ	15	外 輪	210	フ エ ロ ン	45	計	22,359
38	8	艷 付 鋼 板	89	ト ラ ッ ク ホ ー ル ト ナ ッ ト	8	車 軸	101	シ リ コ ン	45	<b>短 尺 及 屑 鋼</b>	
計	145	美 裝 鋼 板	43	計	1,781	鋼 線	28	計	45	短 尺	958
<b>電氣鐵板</b>		計		軌 附 計		ボ ー ル ト ナ ッ ト	9	普 通 鋼 塊	115,210	屑 鋼	1,833
35mm	541	計		線 釘 材 の 部		リ ベ ッ ト	45	電 氣 爐 塊	751	計	2,791
43	124	計		線 材		ナ ッ ト	1	坩 堝 鋼 塊	19		
計	665	計		製 釘 材		特 殊 鋼 材	7	鑄 造 鋼 塊	547		
<b>鐵 力 板</b>		<b>鋼板計</b>		5.5mm		計	401	<b>鋼 片</b>			
lbs		17,538		計		其 他 鋼 材 計	475	内 部 向	69,510		
170	1,217	軌 條 及 附 屬 品 の 部		5.5mm		鋼 材 計	72,971	外 部 向	5,525		
112	92	重 軌 條		計		銑 鐵		計		75,036	
107	28	50 <sup>K</sup>		線 釘 計		本 所 煙 戶	40,971				
100	589	45		10,060		其 他 鋼 材 計	9,889				
95	347	40		其 他 鋼 材 の 部		計					
90	7	37		鍛 成 品		普 通 鋼 角	38				
B.W.G.No.		30		普 通 鋼 丸		電 氣 爐 鋼	17				
33	27	30		計							
31	7	計		21,225							
30	576	輕 軌 條		計							
29	234	8 <sup>K</sup>		計							
計	3,124	6		計							
		計		693							

昭和7年5月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品 種	區 分	神 戶	大 阪	横 濱	5 月 計	前 月 計	本 年 累 計	前 年 同 期 累 計
丸 角	鋼	539	23	172	734	270	3,457	2,013
平 等	鋼	136	1	57	194	24	622	185
不 等	鋼	296	52	419	767	402	3,043	661
	山 山	277	—	—	277	—	600	3
	山	74	—	—	74	—	506	179
溝 工 鋼 板 (0.7mm 超)	形 形	19	—	—	19	—	38	281
鈹 (0.7mm 以下)	力 力	—	22	4	26	17	607	688
	力	196	130	263	589	771	2,996	1,459
	力	—	848	806	1,654	2,251	9,518	5,215
	力	4,512	232	4,979	9,723	8,655	30,693	12,341
軌 線	條 材	23	—	—	23	26	739	1,383
シ ー ト パ イ リ ン グ	鋼 鋼	602	2,028	679	3,309	4,077	12,572	20,857
鋼 其	管 他	184	151	703	1,038	1,574	6,401	4,631
	管 他	8	51	69	128	542	2,778	3,752
	管 他	842	12	508	1,362	911	4,470	1,892
計		7,708	3,550	8,659	19,917	19,520	79,040	55,540
硫 石	炭	1,118	—	4,213	5,331	24,127	81,864	51,301
フ タ	リ	3	51	—	54	63	147	85
ナ ク	レ	201	113	148	462	741	2,067	664
	ン	37	—	32	69	134	385	159

前號旬報 198 號 5 月中三港輸入概況の附表なるも印刷の都合上本月へ掲上せり

昭和7年5月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本年度 累 計
條及 竿鐵	31	374	—	—	33	19	121	24	—	—	—	602	3,579
〃	68	—	904	61	66	51	23	24	—	—	8	1,205	5,447
〃	48	—	837	—	—	—	—	—	8	—	—	943	2,298
〃	4	—	1,064	—	10	—	—	37	—	—	—	1,115	11,231
レ	—	—	21	—	—	—	—	7	—	—	—	28	1,795
フィッシュ、プレート	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	93
ワイヤード ロッド	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	—	16	974	253	—	100	65	2,859	—	—	—	4,267	15,409
鐵板	41	—	136	—	10	—	—	4	—	—	—	191	1,333
〃	1,729	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1,730	9,516
〃	24	—	310	—	13	—	44	27	—	—	86	504	1,978
〃	22	—	126	—	1	—	2	5	—	—	—	156	1,665
〃	6,560	—	3,393	—	—	—	—	1,795	—	—	—	11,748	35,251
〃	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	2	7	272
鐵線	26	—	100	—	3	—	23	32	—	—	—	184	1,427
リード・ワイヤ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
鐵リボン	44	25	121	96	15	—	95	35	—	—	10	441	2,704
帶 (箍 鐵)	344	318	1,049	5,887	—	—	—	43	—	—	1,072	8,713	26,413
バラゴン・ワイヤ	2	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	12	132
線 索	24	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	32	84
撚 合 線	—	—	—	—	—	—	—	11	—	—	—	11	39
バーブ・ツイス ト・ワイヤ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵筒 及 管	25	—	159	—	—	—	—	164	—	—	—	348	4,674
特殊鋼(稅表一)	59	—	27	—	180	—	44	13	—	—	34	357	1,013
〃 (稅表二)	8	23	18	—	26	—	1	—	—	—	5	81	338
鐵道車輛用 車輪及車軸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52
鐵道車輛用 車輪及車軸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45
鐵道車輛用 道車リ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	9,059	756	9,308	6,297	357	170	418	5,080	13	—	1,217	32,675	126,789
フェロ・マンガニース	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	194
フェロシリコン及シリコ スビーゲルアイゼン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他の不可 鍛成鐵合金	—	1	11	—	—	—	4	—	—	—	4	20	195
シートバー (テインバーを含む)	105	—	951	—	—	102	—	—	—	—	—	1,158	5,205
インゴット・ブルーム ピレット及スラップ	—	—	105	—	—	—	—	—	—	1,594	—	1,699	9,004
ケツグスチール及 パンプスチール	—	—	—	—	—	—	84	—	—	—	—	84	337
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
合 計	105	3	1,067	—	—	102	88	—	—	1,594	4	2,963	14,937
銑屑 及 故 鐵	559	—	—	—	—	—	102	—	—	12,655	38,521	51,837	245,803
	8,077	551	958	1,815	—	751	—	17,441	154	16,065	9,521	55,333	195,702



昭和7年6月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (其ノ一)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>棒鋼の部</b>		4.4mm	1	27.5	4	3/16	83	50	9	6%	157
		6	51	31	13	1/4	1	60	17	8	5
		33	5	35	9	5/16	2	70	17	8%	375
		52.5	15	70	1	3/8	1	80	17	12	5
				計	524	1/2	1	90	4	50.8	4
丸鋼				六角鋼		5/8	2	100	26	53.5	10
3/16"	39			計	21	3/4	2	mixed	115	54.2	5
1/4"	9			八角鋼		1 mm	3	oil size	2,203	59	5
5/16"	7			計	8	1.2	1	其他	1,511	130	3
5/16"	7			其他の棒鋼		1.4	2	計	4,296	140	2
3/8"	6			計	1	1.5	25	鋼板計	6,987	150	2
7/16"	7			棒鋼計	1,288	1.6	22			Pipe fitting	10
1/2"	6			型鋼の部		1.8	20				
1/2"	1			等邊山形鋼		2	1				
3/8"	1			1"	20	3	1				
3/8"	1			計	20	4	1				
3/8"	1			溝形鋼		5	1				
3/4"	7			8" x 3"	237	8	3				
3/4"	1			計	237	11	36				
3/4"	1			丁形鋼		12	10				
3/4"	1			1 1/2" x 1 1/2"	15	13	15				
3/4"	1			2 1/2" x 2 1/2"	10	13 1/2	15				
3/4"	1			3 x 3	49	14	18				
3/4"	1			4 x 4	20	14 1/2	6				
3/4"	1			計	94	15	28				
3/4"	1			造船材料		16	19				
3/4"	1			6" x 3"	2	17	22				
3/4"	1			6 x 6	3	18	11				
3/4"	1			計	5	19	24				
3/4"	1			丁形計	99	20	3				
3/4"	1			パイリング		計	1,730				
3/4"	1			シート		(鋼板0.7mm以下)					
3/4"	1			計	38	sheets					
3/4"	1			型鋼計	394	11	1				
3/4"	1			條鋼計	1,682	B.W.G.No.					
3/4"	1			鋼板の部		5	703				
3/4"	1			(鋼板0.7mm超)		6	605				
3/4"	1			0.028"	1	7	30				
3/4"	1			1/2	2	8	68				
3/4"	1			1/16	450	9	39				
3/4"	1			3/2	82	10	33				
3/4"	1			3/8	826	11	5				
3/4"	1			電氣鐵板		12	6				
3/4"	1			0.35mm	48	13	30				
3/4"	1			0.5	70	14	68				
3/4"	1			0.014"	31	15	39				
3/4"	1			0.02	5	16	33				
3/4"	1			0.024	1	17	5				
3/4"	1			計	155	18	51				
3/4"	1			鋼管の部		19	30				
3/4"	1			鋼管		20	30				
3/4"	1			1/4"	5	21	6				
3/4"	1			3/8"	46	22	4				
3/4"	1			1/2"	130	23	4				
3/4"	1			3/4"	131	24	50				
3/4"	1			1"	181	25	50				
3/4"	1			1 1/4"	87	26	50				
3/4"	1			1 1/2"	15	27	50				
3/4"	1			2"	30	28	50				
3/4"	1			2 1/2"	6	29	50				
3/4"	1			3"	4	30	50				
3/4"	1			4 1/2"	50	31	50				
3/4"	1					32	50				
3/4"	1					33	50				
3/4"	1					34	50				
3/4"	1					35	50				
3/4"	1					36	50				
3/4"	1					37	50				
3/4"	1					38	50				
3/4"	1					39	50				
3/4"	1					40	50				
3/4"	1					41	50				
3/4"	1					42	50				
3/4"	1					43	50				
3/4"	1					44	50				
3/4"	1					45	50				
3/4"	1					46	50				
3/4"	1					47	50				
3/4"	1					48	50				
3/4"	1					49	50				
3/4"	1					50	50				
3/4"	1					51	50				
3/4"	1					52	50				
3/4"	1					53	50				
3/4"	1					54	50				
3/4"	1					55	50				
3/4"	1					56	50				
3/4"	1					57	50				
3/4"	1					58	50				
3/4"	1					59	50				
3/4"	1					60	50				
3/4"	1					61	50				
3/4"	1					62	50				
3/4"	1					63	50				
3/4"	1					64	50				
3/4"	1					65	50				
3/4"	1					66	50				
3/4"	1					67	50				
3/4"	1					68	50				
3/4"	1					69	50				
3/4"	1					70	50				
3/4"	1					71	50				
3/4"	1					72	50				
3/4"	1					73	50				
3/4"	1					74	50				
3/4"	1					75	50				
3/4"	1					76	50				
3/4"	1					77	50				
3/4"	1					78	50				
3/4"	1					79	50				
3/4"	1					80	50				
3/4"	1					81	50				
3/4"	1					82	50				
3/4"	1					83	50				
3/4"	1					84	50				
3/4"	1					85	50				
3/4"	1					86	50				
3/4"	1					87	50				
3/4"	1					88	50				
3/4"	1					89	50				
3/4"	1					90	50				
3/4"	1					91	50				
3/4"	1					92	50				
3/4"	1					93	50				
3/4"	1					94	50				
3/4"	1					95	50				
3/4"	1					96	50				
3/4"	1					97	50				
3/4"	1					98	50				
3/4"	1					99	50				
3/4"	1					100	50				
3/4"	1					101	50				
3/4"	1					102	50				
3/4"	1					103	50				
3/4"	1					104	50				
3/4"	1					105	50				
3/4"	1					106	50				
3/4"	1					107	50				
3/4"	1					108	50				
3/4"	1					109	50				
3/4"	1					110	50				
3/4"	1					111	50				
3/4"	1					112	50				
3/4"	1					113	50				
3/4"	1					114	50				
3/4"	1					115	50				
3/4"	1					116	50				
3/4"	1					117	50				
3/4"	1					118	50				
3/4"	1					119	50				
3/4"	1					120	50				
3/4"	1					121	50				
3/4"	1					122	50				
3/4"	1					123	50				
3/4"	1					124	50				
3/4"	1					125	50				
3/4"	1					126	50				
3/4"	1										

昭和7年6月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (其ノ二)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數		
3/4	412	2 1/4	32	3 1/16	178	5 7/8	5	リボン	鋼片、鋼塊				
1	20	2 3/8	12	3 3/4	5	6	11						
1 1/4	36	2 1/16	15	4	83	6 1/2	4					フェロクロム	7
1 1/2	46	2 3/4	15	4 1/8	117	7 1/2	13					シート	2,870
1 3/4	19	2 3/16	3	4 3/16	21	9 1/8	3					バ	
1 7/8	10	2 7/8	16	4 1/2	42	其他	180					ビレシト	796
2	96	3	137	4 5/8	5							ケツグ	15
2 1/8	10	3 1/32	5	4 1/16	3							スチール	
2 1/16	16	3 1/8	137	4 3/4	5								
2 1/4	26	3 1/4	170	4 5/8	5								
2 1/2	23	3 3/8	71	4 7/8	5								
2 3/8	8	3 3/16	10	5	29								
2 7/16	7	3 7/16	51	5 1/8	2								
2 1/2	98	3 1/2	113	5 1/16	49								
2 9/16	155	3 5/16	49	5 1/2	5	計	5,437	計	487				

昭和7年6月中民間棒鋼生産高表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	法寸	噸數
丸鋼		32mm	740	75mm	64	角鋼		平鋼		計	2,969
6mm	76	34	33	80	1	9mm	7	38mm	471		
6.5	9	36	96	83	2	14	2	44	91		
8	103	38	299	90	39	25	7	50	906		
9	88	40	24	95	5	38	16	65	1,157		
11	2	42	218	100	7	44	11	75	16		
12	3,841	44	306	3 1/4	808	50	12	80	4		
13	44	48	66	4 1/4	159	65	4	90	1		
14	2	50	139	4 1/2	159	75	1	93	12		
16	3,023	55	35	5	75	90	4	100	15		
17	1	57	8	5 1/2	57	100	22	1 1/4	21		
19	4,531	60	7	二級品	126			2	7		
22	3,744	65	96	三級品	364			2 1/4	73		
25	2,719	67	3	計	23,309	計	86	2 1/2	153	棒鋼計	26,364
28	1,182	70	8					三級品	42		

昭和7年6月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品種區分	神戸	大阪	横濱	6月計	前月計	本年累計	前年同期累計
丸角	223	250	100	573	734	4,030	2,484
平	108	55	6	169	194	791	319
等	295	95	136	526	767	3,569	1,276
不溝	20	—	—	20	277	620	3
工	—	—	—	—	74	506	179
鋼	—	—	237	237	19	275	382
板 (0.7mm超)	967	303	462	1,732	26	607	1,101
" (0.7mm以下)	100	559	146	805	589	4,728	1,962
鉄軌線	1,517	135	2,645	4,297	9,723	34,990	15,274
力條材	10	—	962	972	23	1,711	1,815
シート	629	703	203	1,535	3,309	14,107	27,658
パイ	—	—	38	38	1,038	6,439	5,062
リング	31	—	1,063	1,094	128	3,872	4,703
鋼其	302	16	413	731	1,362	5,201	2,559
管他	4,202	2,116	6,411	12,729	19,917	91,769	71,047
計			203	203	5,331	82,067	82,444
硫石	—	—	—	—	54	147	85
炭	401	—	30	431	462	2,498	1,036
ナ	15	—	21	36	69	421	225
ク							

昭和7年4月中民間棒鋼生産高表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸	鋼	32mm	1,133	3¾	321	角	銅	平	鋼	三級品	43
6mm	198	34	17	4"	53	9mm	2	32mm	2	計	2,074
8	354	36	496	4¼	143	11	10	38	277		
9	16	38	949	4½	106	14	2	44	196		
10	27	40	3	5	46	16	772	50	565		
11	5	42	375	5½	226	19	37	57	1		
12	4,813	44	583	二級品	233	22	7	65	825		
13	91	48	141	三級品	282	25	39	70	10		
16	4,019	50	15			32	36	75	94		
17	18	57	24			38	20	90	16		
19	4,389	65	7			44	19	100	9		
22	2,399	75	8			50	20	115	10		
25	2,805	83	12			57	5	120	4		
28	1,233	90	4			65	13	127	11	棒鋼	29,651
30	5	¾"	996	計	26,595	計	982	150	11	合	

哈爾濱に於ける針金需給状況 (東京商工獎勵館館報十七號)

需給概況 北滿に於ける針金類は歐洲大戰後日、獨、白耳義製品の競争状態となり、日本製品も日本國內鍍金工業の發達につれて、品質も獨逸品に比して遜色を認めざるに至り、其輸入數量も漸次増加したが一方獨逸品も非常なる勢で市場割込に努力し昭和6年9月、日支事變勃發までは、數量に於て第一位を占めて居た。

爾後哈爾濱に於ける獨逸輸入商が時局不安懸念にて輸入を手控へたと、日本の金輸出再禁止の結果、従前獨逸品に比し幾分割高と云はれたる日本品の市價が獨逸品と略同様となりたるため、僅々1ケ年足らずの間に其の地位を顛倒し、昭和6年6月以降現在迄輸入されたる割合を見るに、日本品は8割近くを占め、品質日本品に比し更に劣れる白耳義製品は競争圏外に置かれるに至つた。

然し此現象は時局不安定及日本の金輸出再禁止と云ふ特別刺戟材料の影響を多分に受けたる爲めである故、時局平定後も尙現在の状態を持續し得るや否や逆賭し得ない事は勿論である。

全體の輸入數量を見るに不況の折柄時局の影響を受けて夥しく減少、昭和6年6月より昭和7年5月迄の輸入數量は各種針金類を合せて約600噸、12—3萬圓見當で昭和3—4年頃1ケ年約20萬圓數量1,000噸内外と稱せられたるに對すれば今昔の感に堪へないものがある。

因みに日本品としては次の各工場製品が哈爾濱輸入商筋によく知られて居る。

大阪金網株式会社、日本亞鉛引鐵線株式会社、日本鐵線株式会社、攝津鐵線株式会社

輸入品の種類と番手 (1) 亞鉛引針金及鬼針金

亞鉛引針金は針金全輸入數量の約7—8割を占め、最近1ケ年の輸入數量は約1萬卷(500噸)10萬圓見當と云はれ、6番及8番乃至22番の18種の内6番乃至18番が需要最も多く、従前亞鉛鍍油引鐵線或は亞鉛鍍油引銅線を使用したる電信電話線には近來亞鉛引針金8、11、14、16番就中8番が最も多く使用されて居る。鬼針金は現在殆んど日本品のみで12番14番の2種。

(2) 其他の針金 亞鉛引針金以外の針金類の輸入は實に微々たるもので總額2萬圓見當と見られて居る。其種類及需要多きものを示せば大體左の如くである。

A 鐵線 14番乃至18番馬燈又は材木を束ねるために使用されて居るが、需要數量は微々たるもので現在ストック殆んどなし。

B 銅線 14番乃至20番電燈線には硬銅線を使用するが多い。

C 眞鍮線 16番より21番迄、主として金網用として使用され、其の數量は云ふに足らず。

現在の哈爾濱卸賣市價 取扱店及種類頗る多く劃一的なる市價を示し得ないが、需要多き日本製品につき最近の見當相場を見るに大體次の如し。(邦貨建)

A 亞鉛引針金 (單位1卷日本斤84斤21卷1噸) 8番9.30圓 16番10.70圓 22番13.50圓

B 鬼針金(1卷84斤) 12番14.00圓 14番14.50圓

C 鐵線(1布度) 殆んどストックなく市價判然せざるも卸賣取扱店は16番1布度3圓50錢前後と稱して居る。

D 銅線(1布度) 16番15.00圓 20番23.50圓

E 眞鍮線(1布度) 16番14.50圓